

資料編

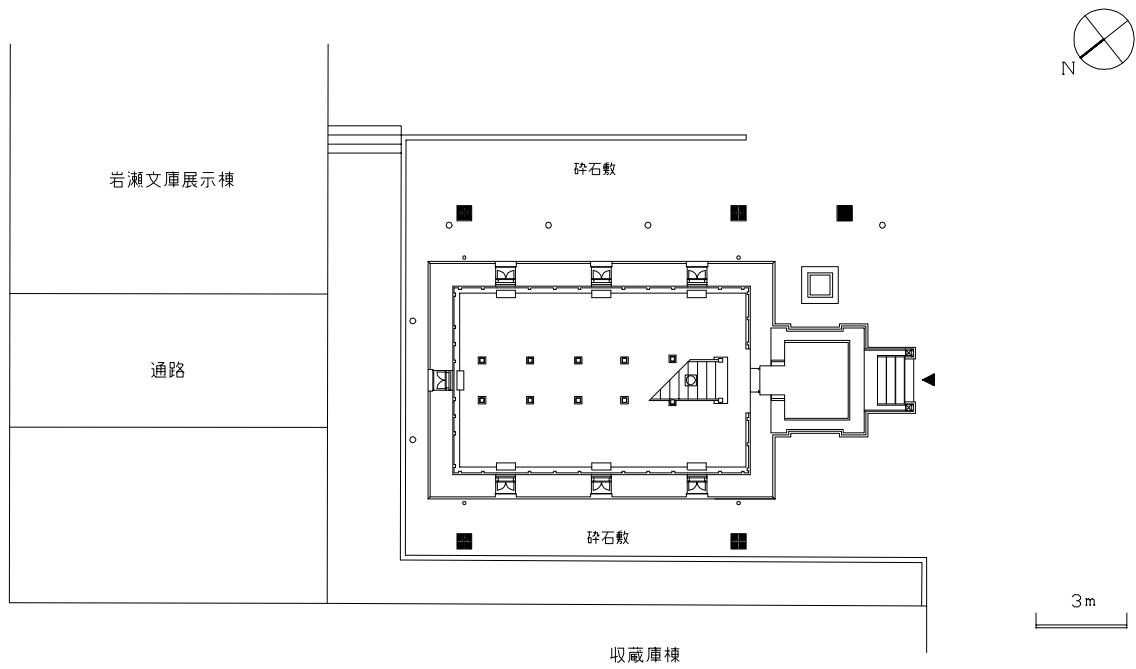
目次

1. 建造物実測図	1
①旧書庫	1
1) 旧書庫 現状配置図	1
2) 旧書庫 平面図	2
3) 旧書庫 立面図	4
4) 旧書庫 断面図	6
②おもちゃ館	7
1) おもちゃ館 現状配置図	7
2) おもちゃ館 平面図	8
3) おもちゃ館 立面図	9
4) おもちゃ館 断面図	11
2. 保護方針図	12
①旧書庫	13
②おもちゃ館	17
3. 保護管理表・図	20
①旧書庫	21
1) 保護管理表	21
2) 保護管理図	24
②おもちゃ館	34
1) 保護管理表	34
2) 保護管理図	36
4. 市民意向調査結果	41
5. 図面・写真資料	42
①図面	42
1) 敷地図面	42
2) 建物図面	45
②写真	49

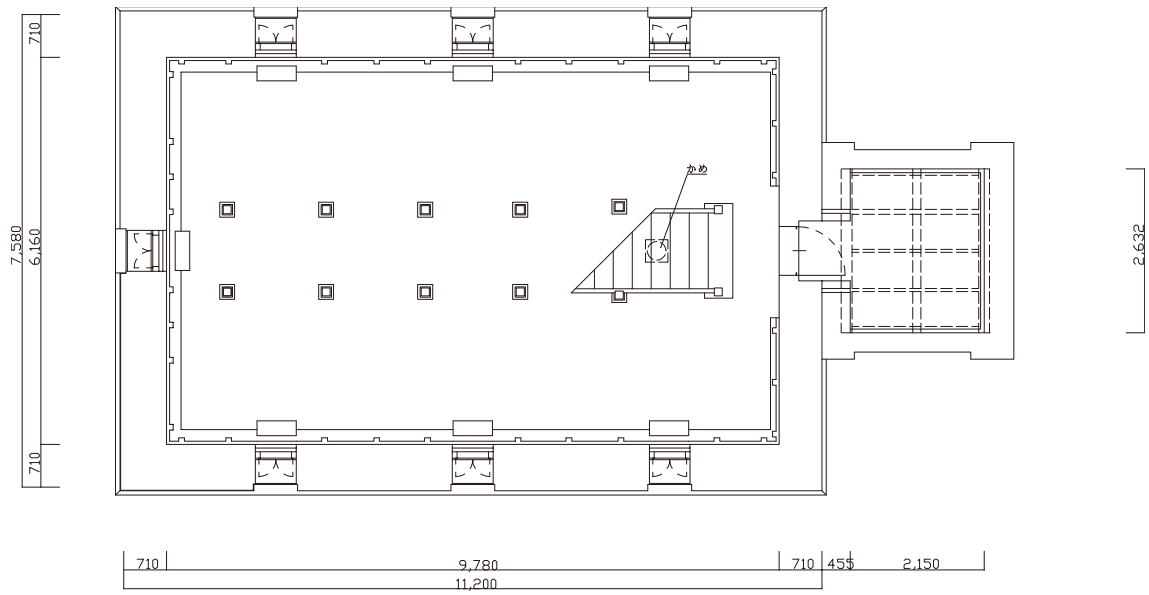
1. 建造物実測図

①旧書庫

1)旧書庫 現状配置図

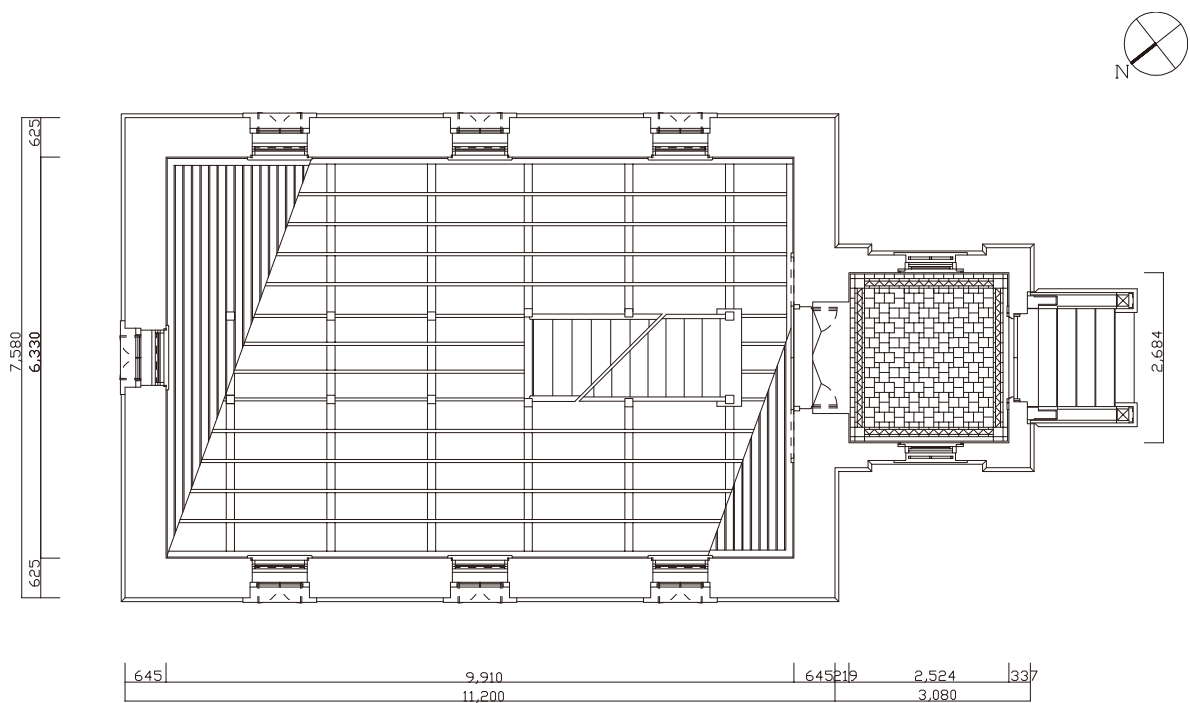


2)旧書庫 平面図



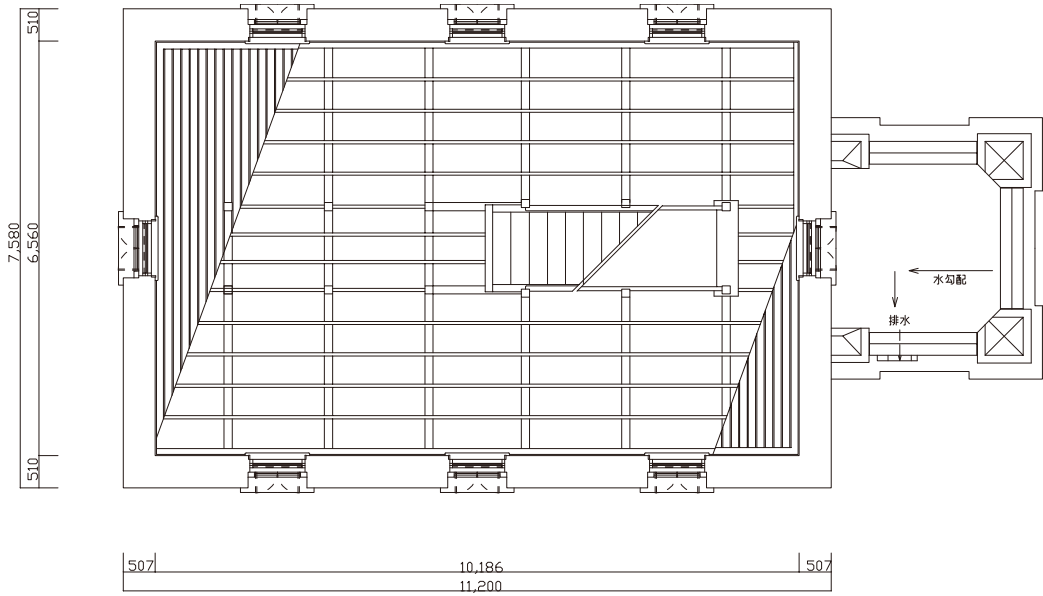
地下1階平面図

地下1階



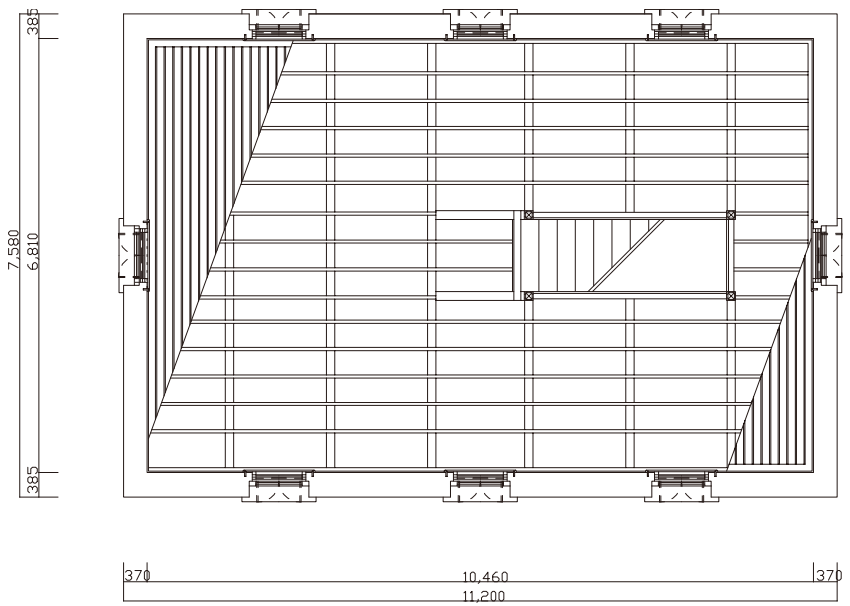
1階平面図

1階



2階平面図

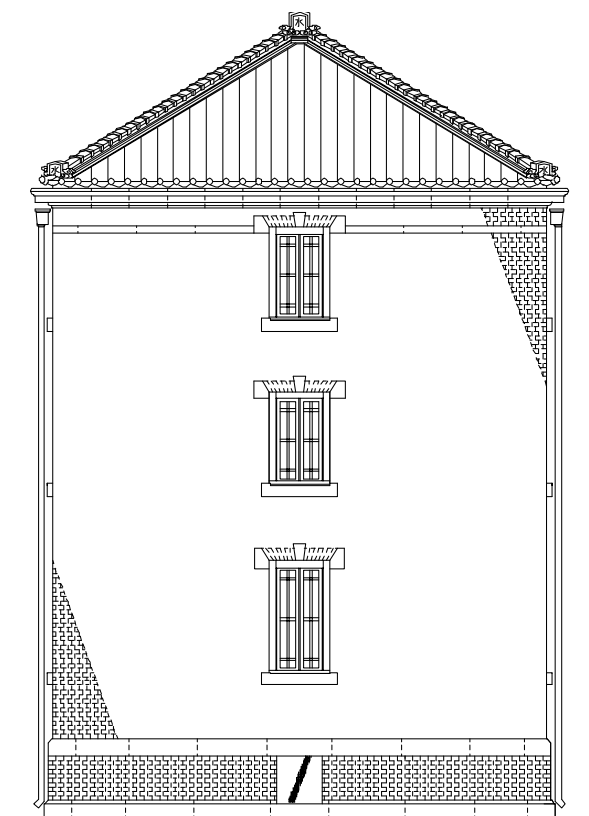
2階



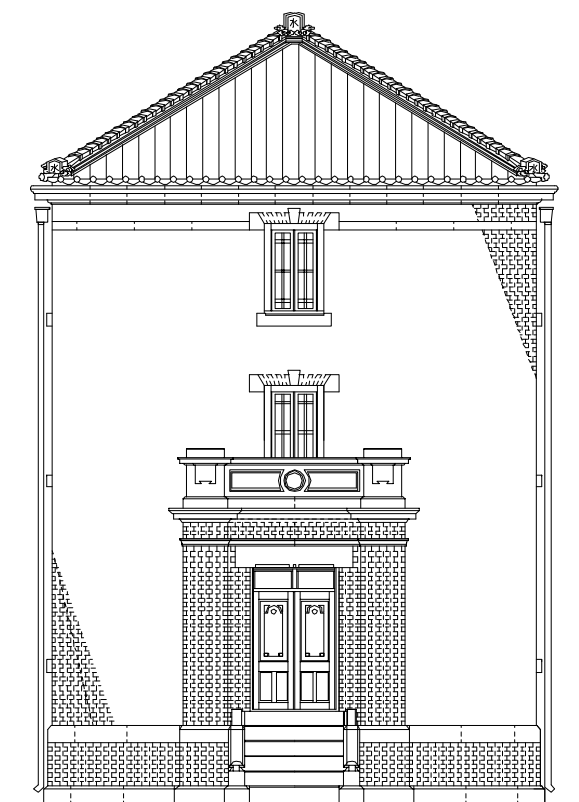
3階平面図

3階

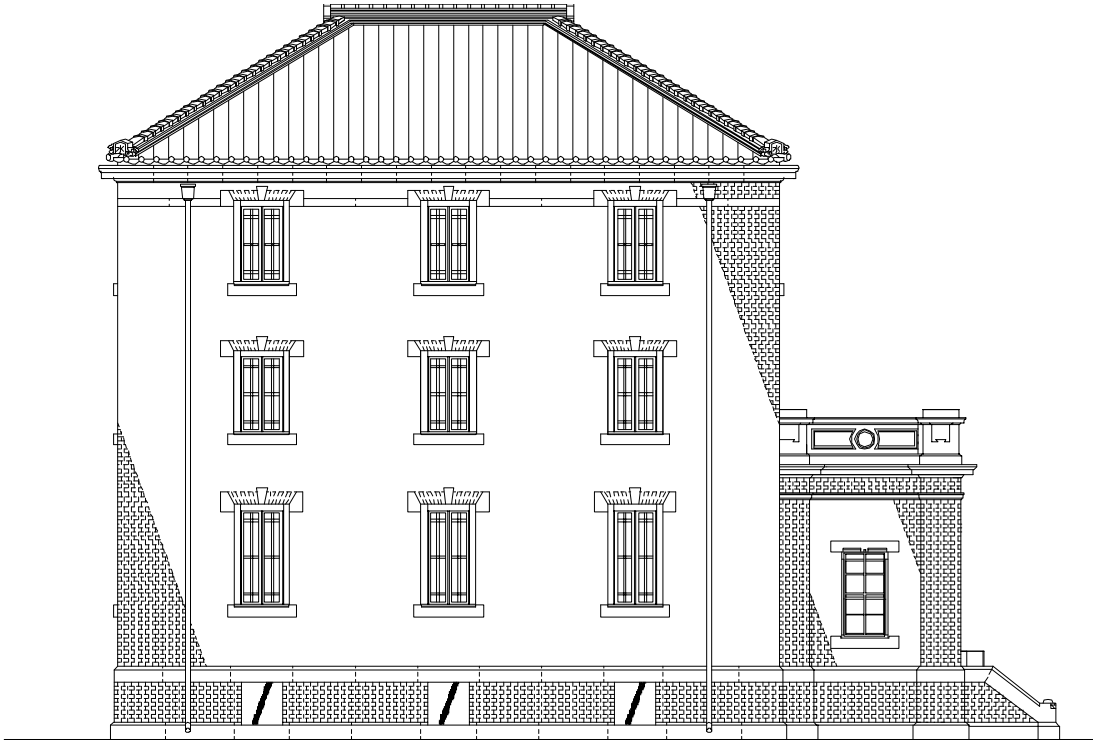
3) 旧書庫 立面図



北立面(背面)



南立面(正面)

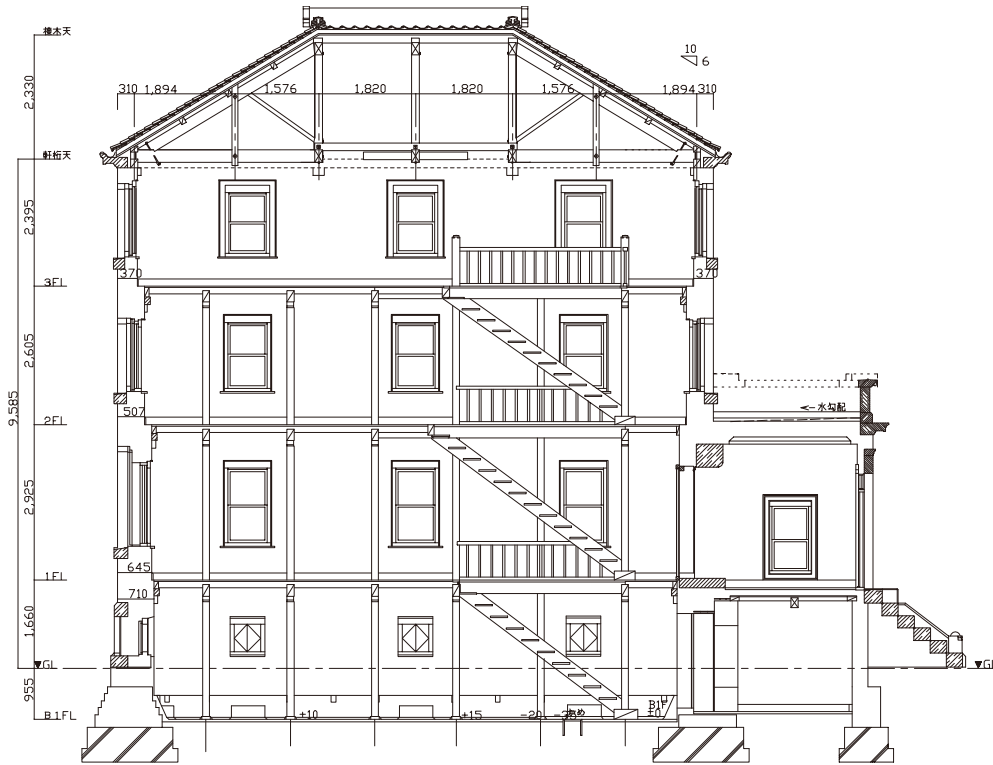


西立面(側面)

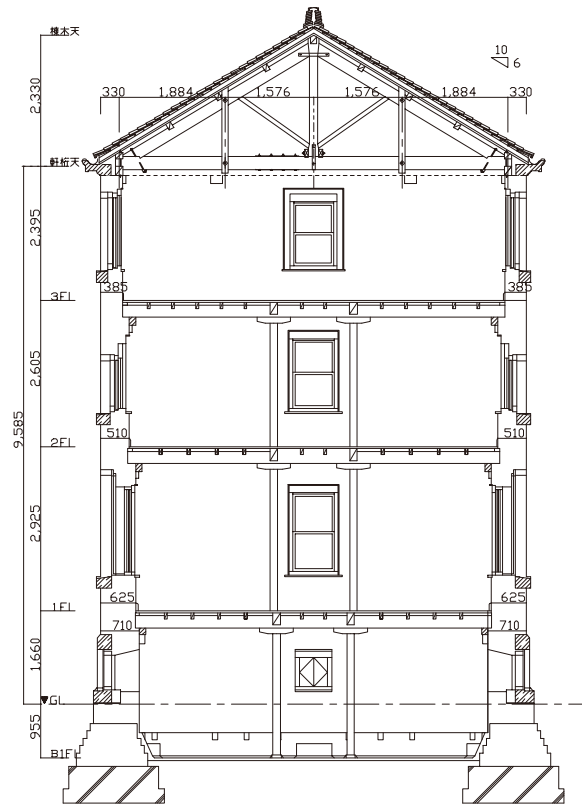


東立面(側面)

4) 旧書庫 断面図



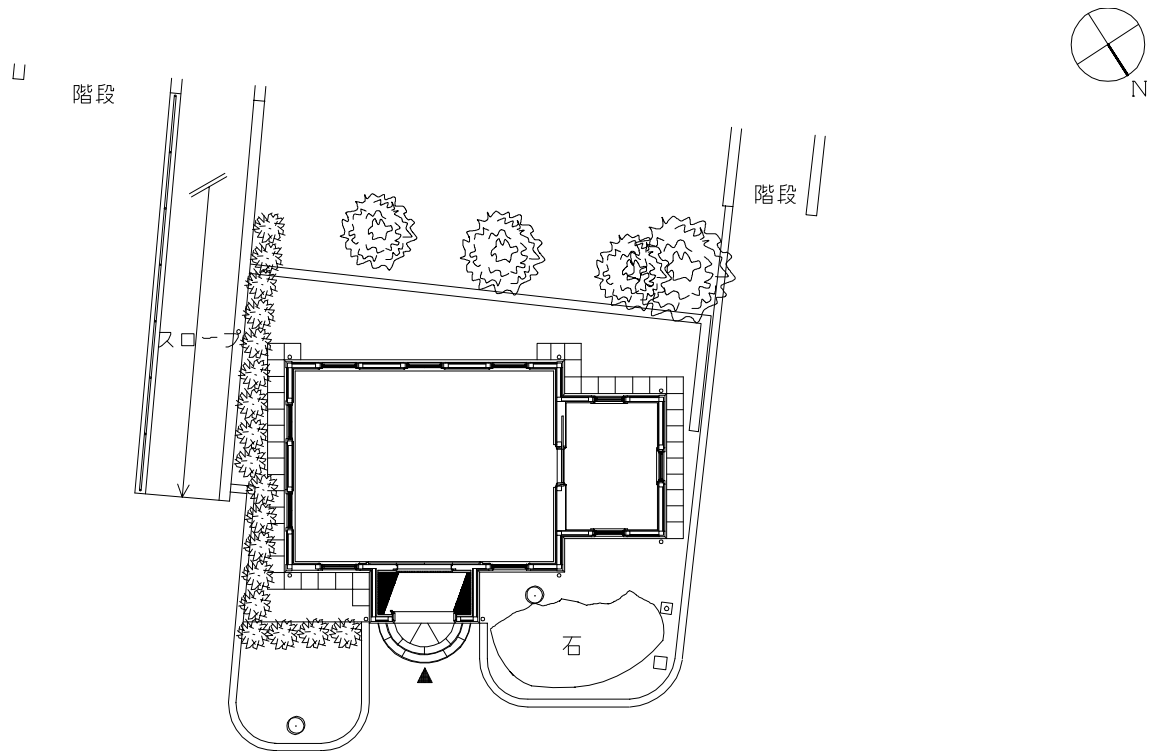
桁行断面図



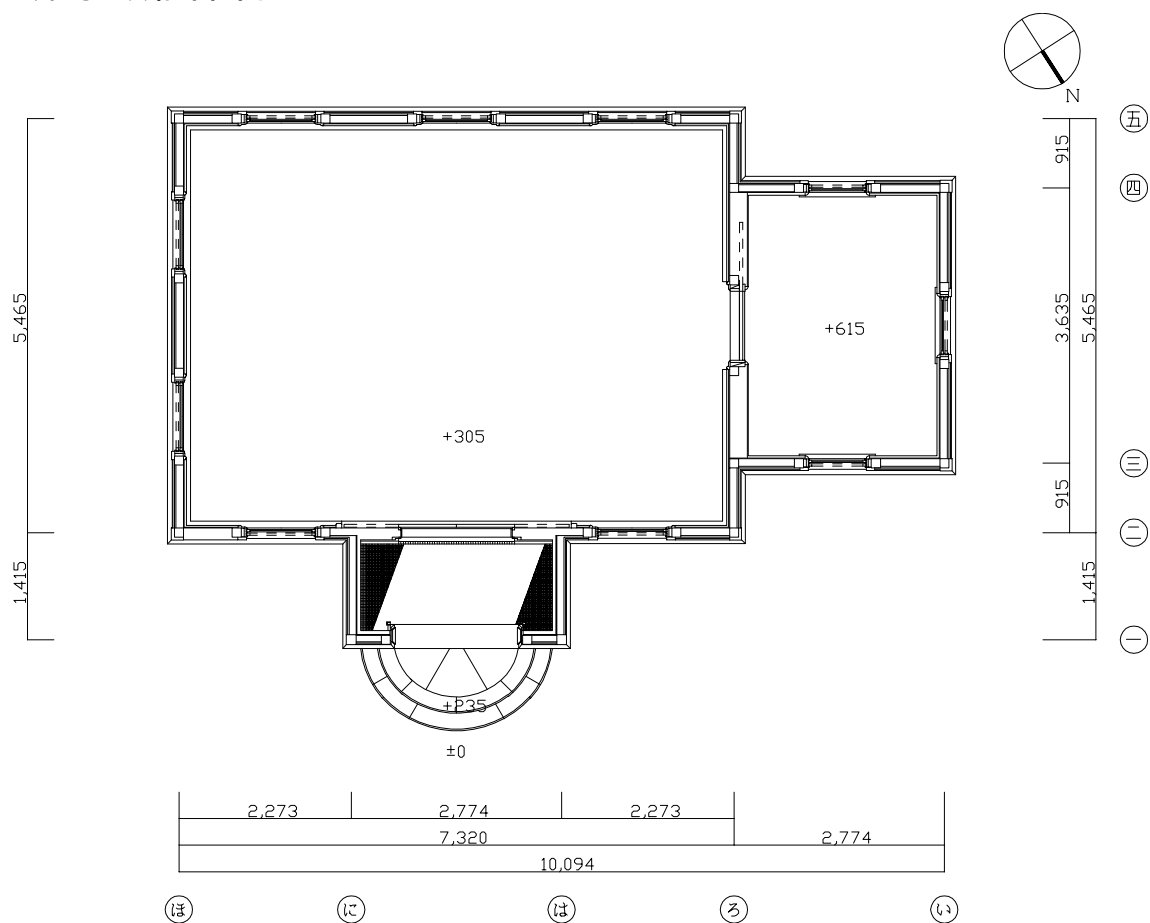
梁間断面図

②おもちゃ館

1)おもちゃ館 現状配置図



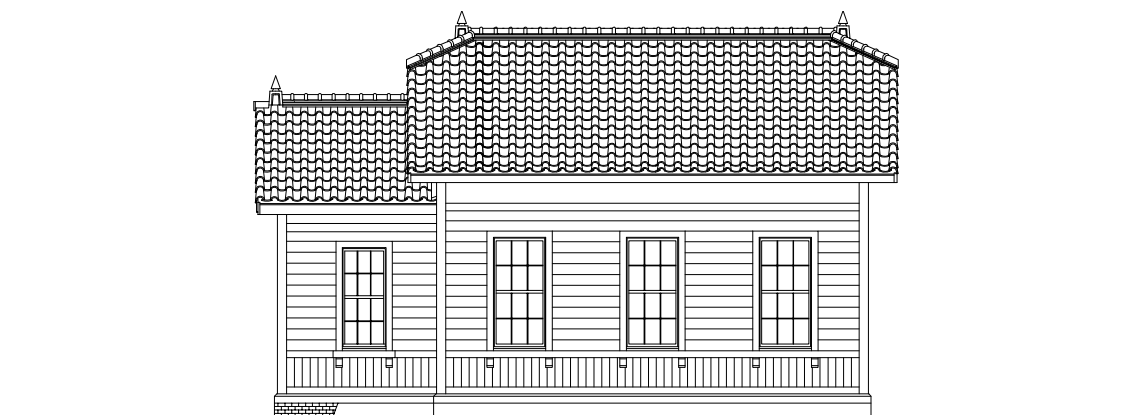
2)おもちゃ館 平面図



3)おもちゃ館 立面図



北立面図



南立面図

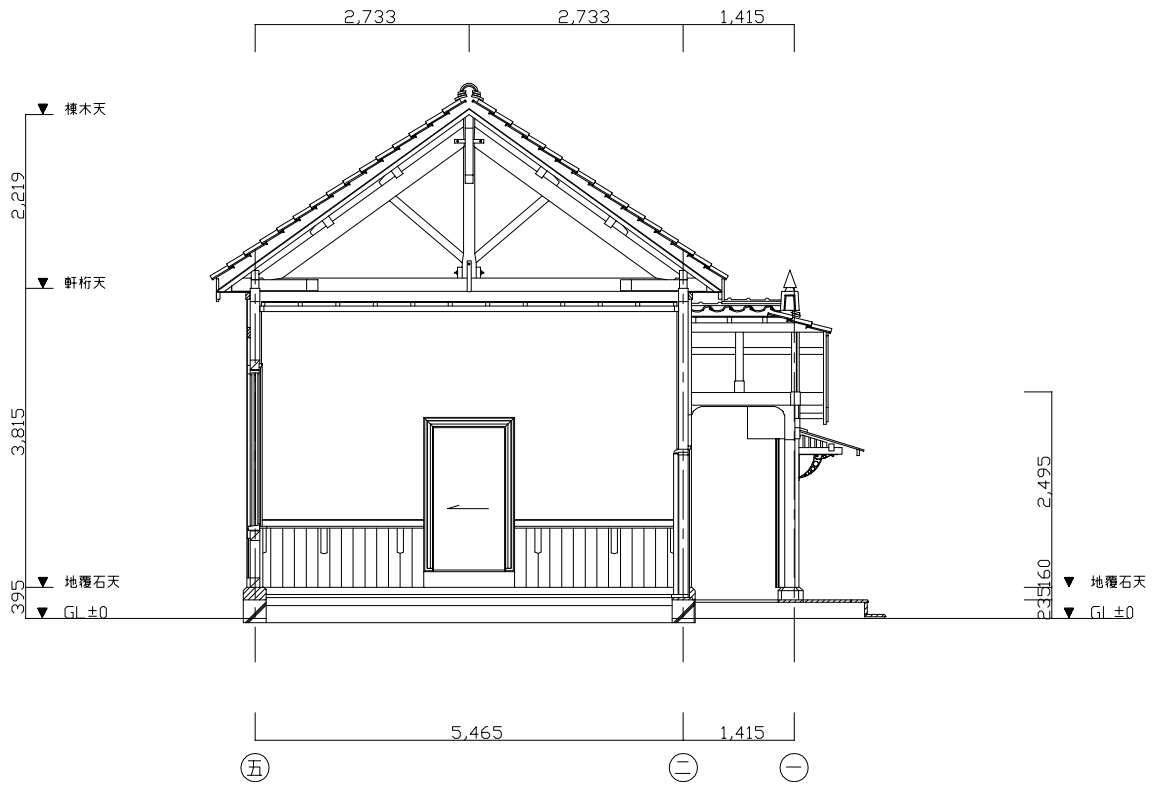


東立面图



西立面图

4)おもちゃ館 断面図



断面図 1



断面図 2

2. 保護方針図

<外 部>

通常望見できる部分を「保存部分」とする。その他部分については、改変の度合いや防火上の措置等現状に応じて判断する。

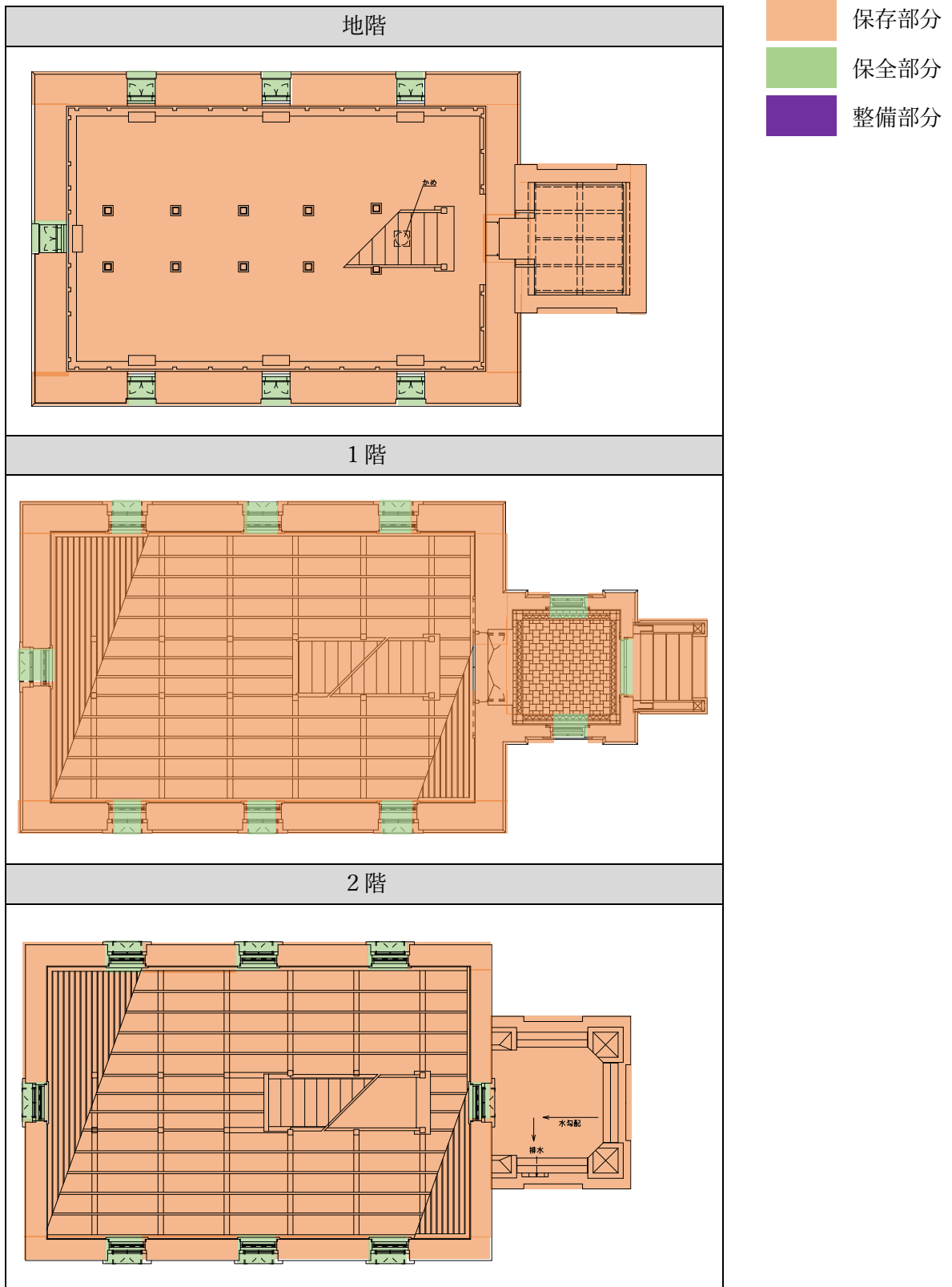
<内 部>

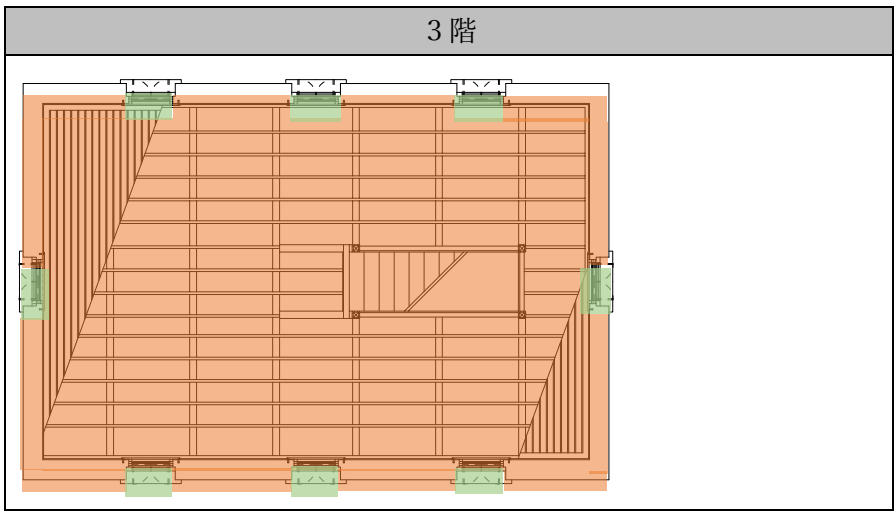
大部分を「保存部分」とするが、一部は「保全部分」「整備部分」とする。

(ただし、これらの部分による区分は、包括的・機能的な意味における区分であり、補修、耐震補強による部材等については個別に部位による区分で扱うものとする。)

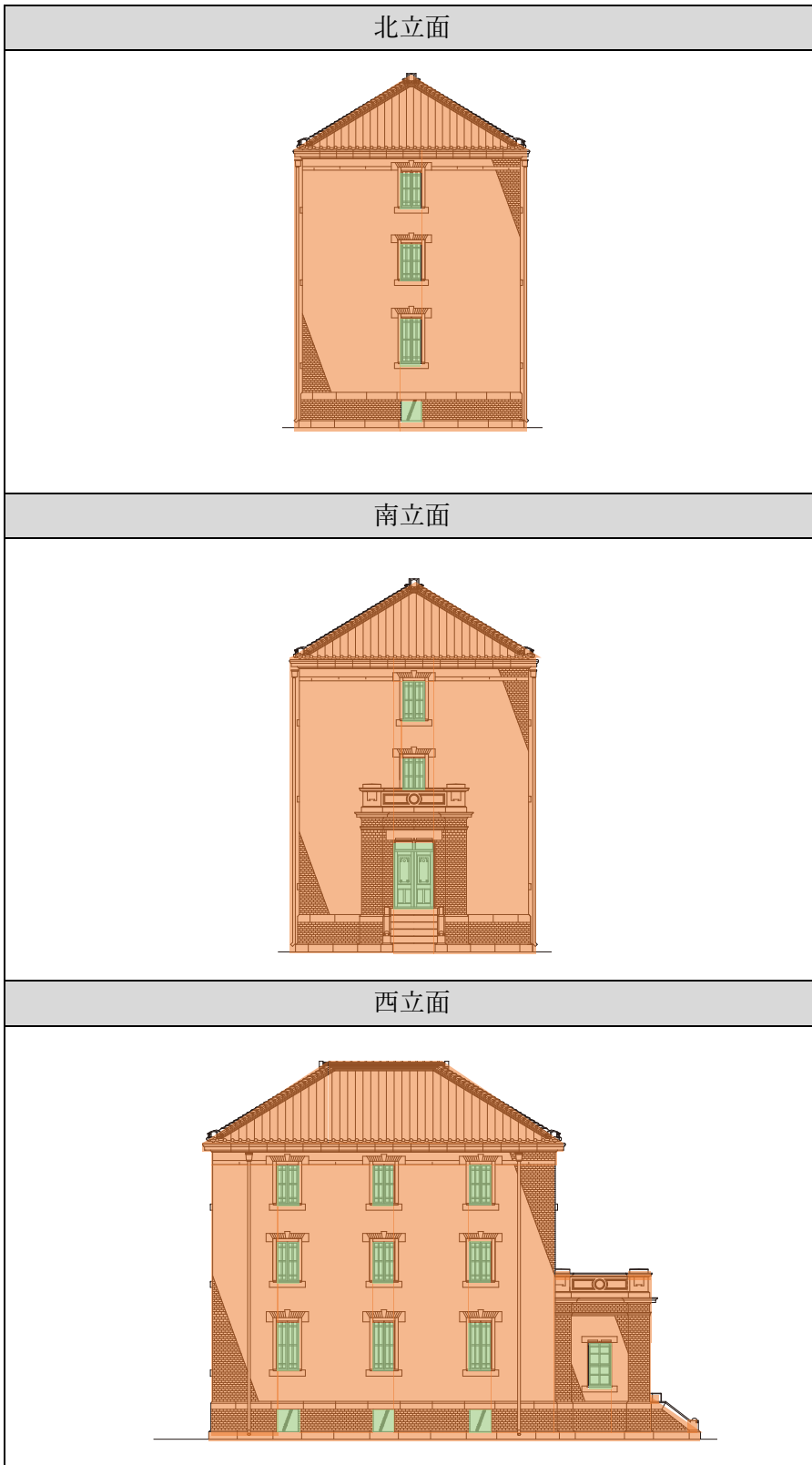
部分の区分	保護の方針
保存部分	特徴的な構造や意匠が残っているなど文化財的、意匠的に価値を保存する部分。原則、当初または改造当初の材料及び仕様を保存もしくは復原する。構造補強などの改変を行わざるを得ない場合は、文化財的価値に十分な配慮を行う。
保全部分	活用または安全性の向上のための整備を行うが、文化財的価値を維持するための配慮が要求される部分。
整備部分	活用または安全性の向上のための整備を優先する部分。

①旧書庫

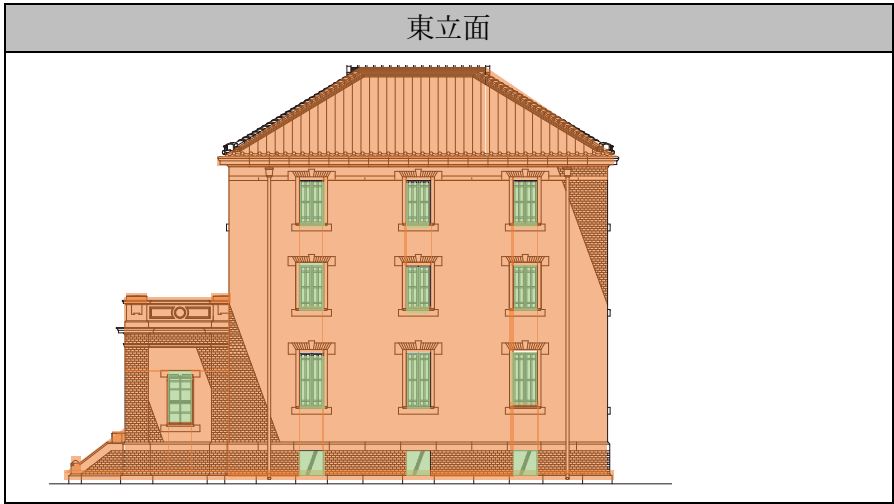




- 保存部分
- 保全部分
- 整備部分

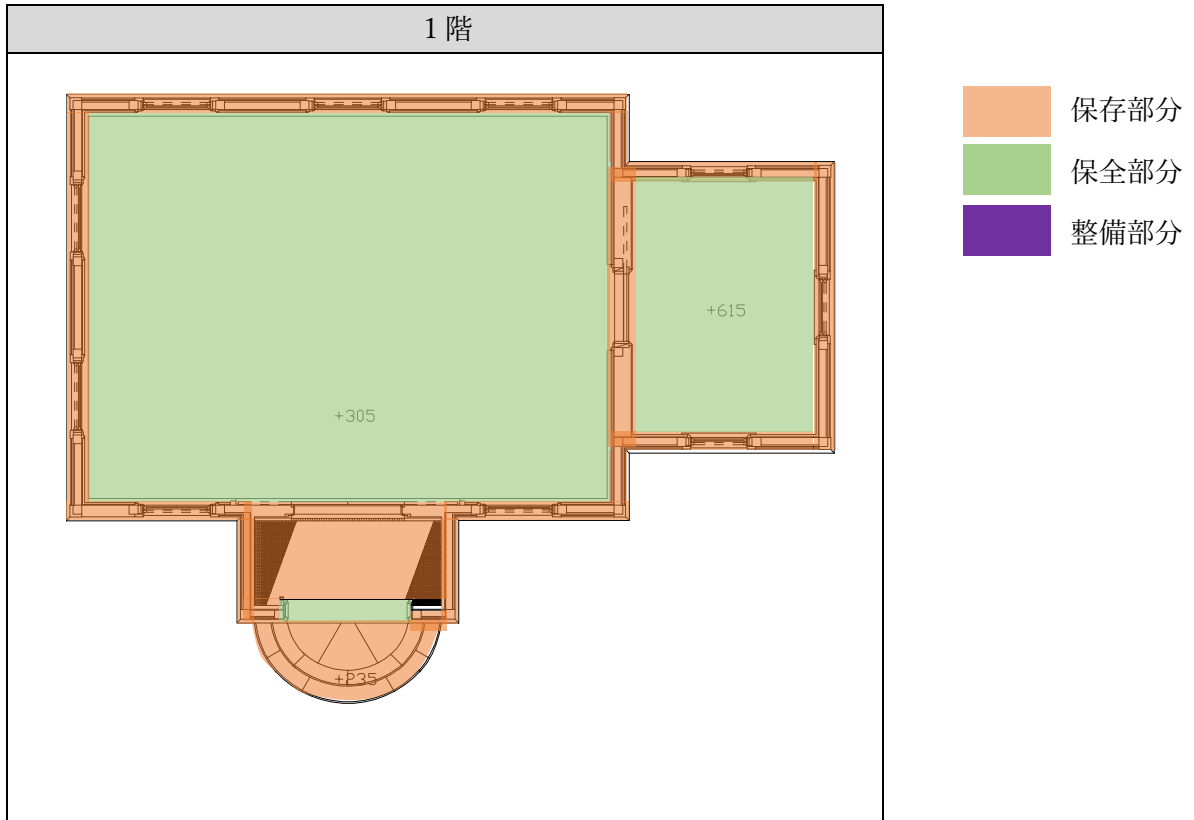


- 保存部分
- 保全部分
- 整備部分



- 保存部分
- 保全部分
- 整備部分

②おもちゃ館

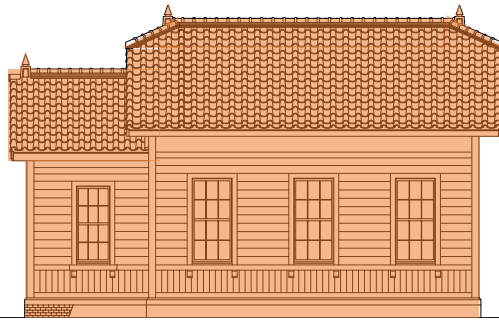


北立面

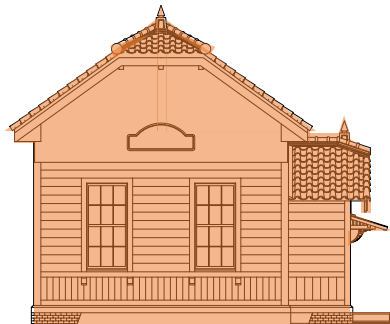


- 保存部分
- 保全部分
- 整備部分

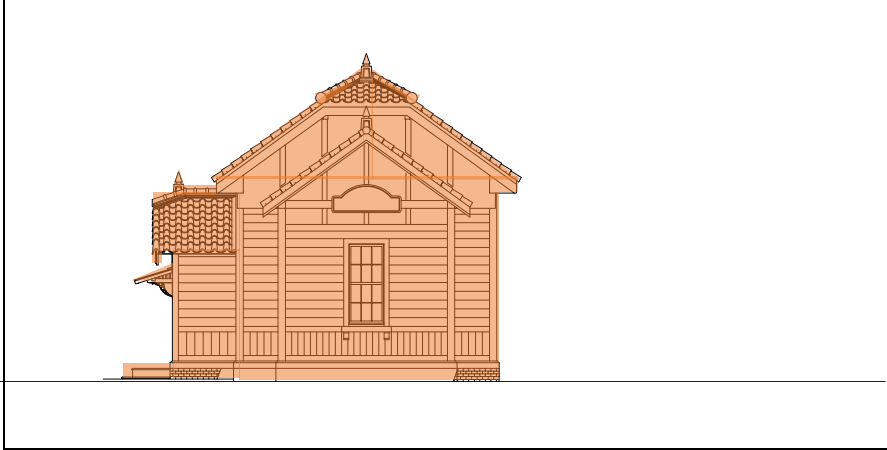
南立面



東立面



西立面



- 保存部分
- 保全部分
- 整備部分

3. 保護管理表・図

「部位」とは、一連の部材等（建造物の基礎、柱・梁等の構造材からなる軸組、床、土壁、天井等）を単位として設定される区分である。各部位に係る保存の基準を定める。基本的に各「部位」の設定にあたっては、その「部位」が構成する「部分」の区分に準ずるものとするが、特に保存が必要な「部位」あるいは活用・公開等のための改修・改造が不可欠となる「部位」については個別に扱う。

基準	部位の基準の選定方針
基準 1	当初の部材が残存もしくは修復された部位。材料自体の保存を行う部位
基準 2 (文化庁要領の基準 2・3)	当初の部材が残存もしくは修復されているもののうち、定期的に材料の取替え等を行う補修が必要な部位、または、当初意匠に配慮して更新される部位
基準 3 (文化庁要領の基準 4・5)	近年の改変もしくは新たに設置された部位

①旧書庫

1)保護管理表

部分 各部分の名称	区分		現状	当初	備考
	部位	保護の基準			
旧書庫外観					
外部 (保存)	①玄関階段	基準 1	花崗岩小叩き	花崗岩小叩き	一部沈下目地切れがある。
	②玄関両開き扉	基準 3	ステンレス 鋼板両開き扉 SUS 板ラン マ付	木製框戸 両開き扉 ランマ付	復原するかは検討
	③玄関パラ ペット	基準 1	花崗岩小叩 き	花崗岩小叩 き	落ち葉による詰まり、排水口寸法を検討する。
	④壁 1 階 2 階 3 階	基準 1	せっき質 タイル張 覆輪目地	せっき質 タイル張 覆輪目地	当初のもの、一部凍害により破損、特に隅角部張替検討する。
	⑤石造軒樋	基準 1	花崗岩小叩き 鋼板半丸内樋 銅角型樋 ごみ除け網	花崗岩小叩 き 改質アスフ ァルト防水 銅板半丸内 樋	防水、排水を検討する。
	⑥屋根	基準 1	いぶし棧瓦葺 き	いぶし棧瓦 葺き	当初のもの。隅棟一部修理痕跡有。
	⑦玄関陸屋 根	基準 2	ウレタン塗布 防水	改質アスフ ァルト防水	当初アスファルト防水、下地の確認、水切検討する。落ち葉
	⑧樋	基準 3	集水器、縦樋 塩ビ製 掴み金物メッ キ	集水器、縦樋 塩ビ製 掴み金物メ ッキ	掴み金物、防錆集水器取合い検討
	⑨開口部 1 階 2 階 3 階	基準 3	アルミ両開き 扉	鉄両開き扉	
	⑩開口部 地階	基準 3	パンチングメ タル	FB 格子	外部意匠に配慮して、代替案検討する。
旧書庫内部(活用方針に応じて、構造補強・設備機器設置を検討する)					
地下 1 階 玄関下物入	⑪床	基準 2	モルタル塗り	モルタル塗 り	当初のもの。防湿対策検討する。

部分 各部分の名称	区分		現状	当初	備考
	部位	保護の基準			
地下1階 玄関下物入	⑫壁	基準2	土塗り下地モルタル塗り	土塗り下地モルタル塗り	
	⑬天井	基準1	床組現し天井	床組現し天井	
	⑭開口部	基準1	鉄製片開き扉	鉄製片開き扉	当初のもの。可動しない。
地下1階	⑮床	基準2	モルタル塗り	モルタル塗り	当初のもの。防湿対策検討する。
	⑯壁	基準2	土塗り下地モルタル塗り	モルタル塗り	当初のもの。損傷激しく、下地から塗り替え検討する。
	⑰天井	基準1	木組床スノコ板現し天井	木組床スノコ板現し天井	
	⑱木組	基準1	桧、松材	桧、松材	階段含む
	⑲木組受石・レンガ	基準1	花崗岩・レンガ	花崗岩・レンガ	
	⑳開口部	基準3	アルミ製両開き扉	鉄製両開き扉か	後補改変だが、このままとする。
1階玄関	㉑床	基準1	タイル張	タイル張	当初のもの。床の撓みあり。下地から取替検討。
	㉒壁	基準2	モルタル塗り塗装	漆喰塗り	雨漏り傷み激しく下地から塗り替え検討する。
	㉓天井	基準1	漆喰塗り	漆喰塗り	雨漏り傷み激しく塗り替え検討する。
	㉔開口部	基準3	アルミ製上げ下げ窓格子付	不明	後補改変だが、このままとする。額縁は後補のもの。
	㉕開口部	基準1	鉄製4枚折れ戸	鉄製4枚折れ戸	錠は後補のもの。
1階	㉖床	基準1	木製スノコ板	木製スノコ板	
	㉗壁	基準1	土塗り下地漆喰塗り	土塗り下地漆喰塗り	当初のもの。漏水、よごれ、剥落あり。
	㉘天井	基準1	木組床スノコ板現し天井	木組床スノコ板現し天井	
	㉙木組	基準1	桧、松材	桧、松材	階段含む

部分 各部分の名称	区分		現状	当初	備考
	部位	保護の基準			
1階	③①木組受石・レンガ	基準 1	花崗岩・レンガ	花崗岩・レンガ	
	③①開口部	基準 1	引分網戸網は鉄製亀甲網	引分網戸網は鉄製亀甲網	錠は後補のもの。
	③②開口部	基準 3	アルミ製上げ下げ窓	木製上げ下げ窓	後補改変だが、このままとする。額縁は、当初のもの。
2階	③③床	基準 1	木製スノコ板	木製スノコ板	
	③④壁	基準 1	土塗り下地漆喰塗り	土塗り下地漆喰塗り	当初のもの。漏水、よごれ、剥落割れの為、下地から塗り替え検討する。
	③⑤天井	基準 1	木組床スノコ板現し天井	木組床スノコ板現し天井	
	③⑥木組	基準 1	桧、松材	桧、松材	階段含む
	③⑦木組受石・レンガ	基準 1	花崗岩・レンガ	花崗岩・レンガ	
	③⑧開口部	基準 3	アルミ製上げ下げ窓	木製上げ下げ窓	後補改変だが、このままとする。額縁は、当初のもの。
3階	③⑨床	基準 1	木製スノコ板	木製スノコ板	
	④①壁	基準 1	土塗り下地漆喰塗り	土塗り下地漆喰塗り	当初のもの。漏水、よごれ、剥落割れの為、下地から塗り替え検討する。
	④①小屋組	基準 1	桧・松材	桧・松材	帯鉄金物、ボルト含め当初のもの。陸梁垂下、小屋組全体に捻じれ有。
	④②小屋組受石・レンガ	基準 1	花崗岩・レンガ	花崗岩・レンガ	
	④③開口部	基準 3	アルミ製上げ下げ窓 アルミ製両開き扉	木製上げ下げ窓、鉄製両開き扉か	後補改変だが、このままとする。額縁は、当初のもの。

その他

- ・書架：当初のもの 現場製作
- ・窓額縁：玄関を除き当初のもの

2)保護管理図

■岩瀬文庫書庫（大正9年）外観

【旧書庫】南より



【旧書庫】東より



■岩瀬文庫書庫（大正9年）外観

【旧書庫】北西角より



【旧書庫】南西隅棟熨斗積み瓦



■岩瀬文庫書庫（大正9年）外観

【旧書庫】石造軒先、西北角



【旧書庫】玄関パラペット、西面



■岩瀬文庫書庫（大正9年）外観

【旧書庫】玄関パラペット、南面



■岩瀬文庫書庫（大正9年）内観

【旧書庫】地下1階 玄関地下室より階段をみる

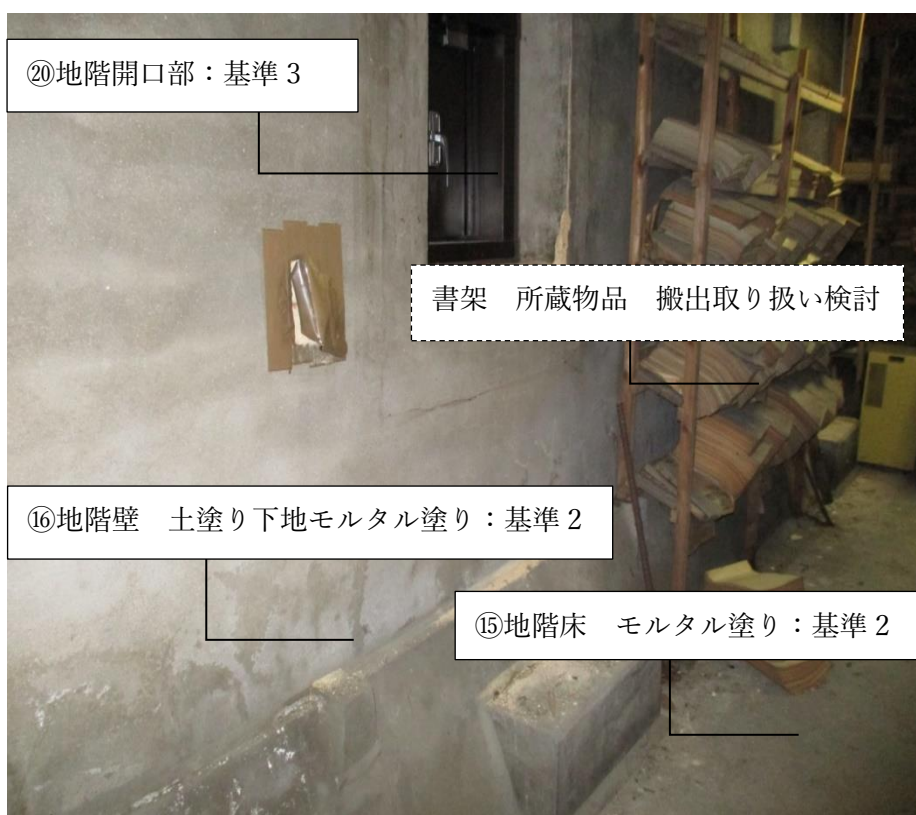


■岩瀬文庫書庫（大正9年）内観

【旧書庫】地下1階 玄関下物入より 南をみる



【旧書庫】地下1階 室内内観



■岩瀬文庫書庫（大正9年）内観

【旧書庫】地下1階 室内内観



【旧書庫】地下1階 階段より北をみる



■岩瀬文庫書庫（大正9年）内観

【旧書庫】1階 玄関 南をみる



【旧書庫】1階 玄関 北をみる

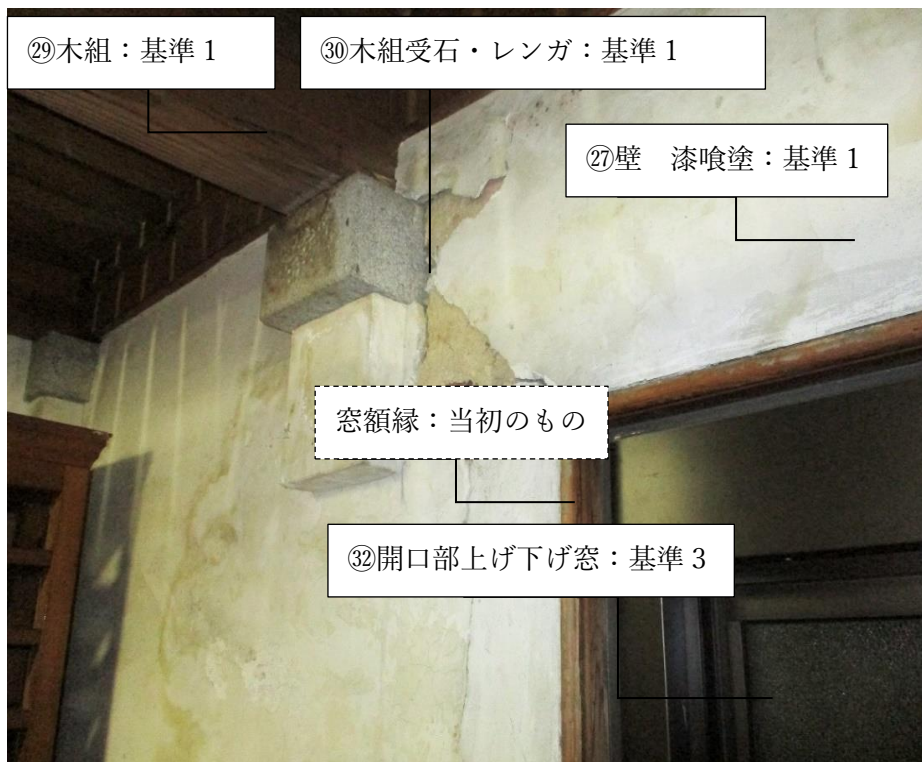


■岩瀬文庫書庫（大正9年）内観

【旧書庫】1階 玄関 東をみる

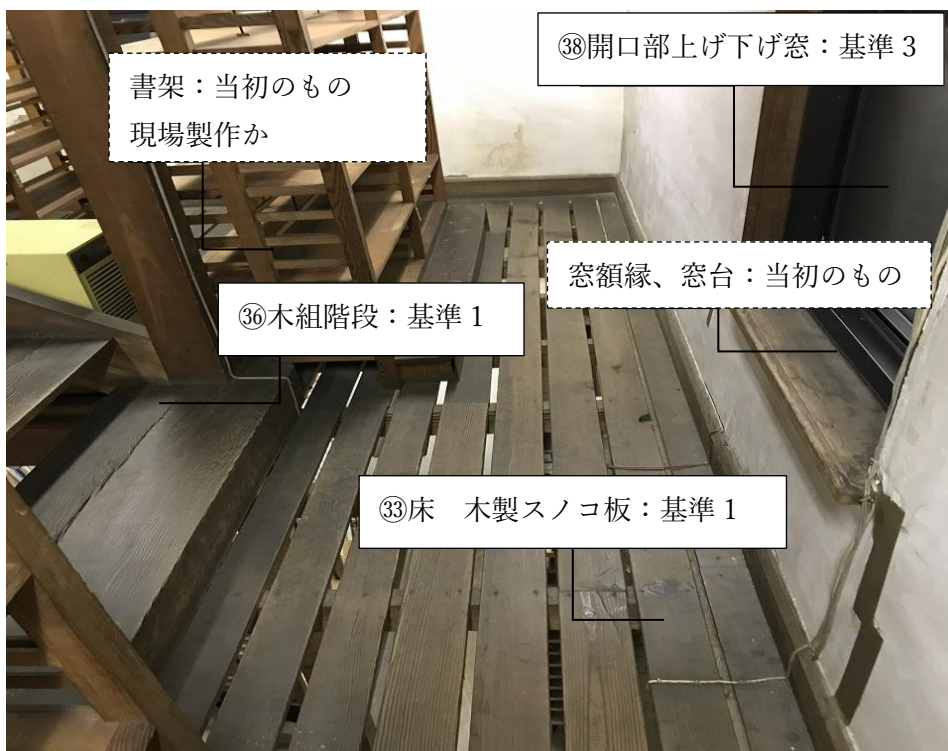


【旧書庫】1階 室内内観



■岩瀬文庫書庫（大正9年）内観

【旧書庫】2階 室内内観



■岩瀬文庫書庫（大正9年）内観

【旧書庫】3階 室内内観



②おもちゃ館

1)保護管理表

部分 各部分の名称	区分		現状	当初	備考
	部位	保護の基準			
おもちゃ館外観					
外部 (保存)	①玄関階段	基準 1	花崗岩	花崗岩	
	②玄関床	基準 1	モザイクタイル	モザイクタイル	当初のもの。 すのこは後補
	③玄関開口部	基準 3	シャッター		玄関施錠方法、シャッター撤去検討する。
	④玄関庇	基準 1	カラー鉄板葺き	銅板葺きか	塗装は後補改変による。
	⑤玄関屋根	基準 3	棧瓦葺き 青緑色	フランス瓦 塩焼き	後補伊勢湾台風修理改変か
	⑥壁	基準 1	アメリカ下見板張り ウレタン塗装	アメリカ下見板張り	当初のもの。 塗装色は類例検討する。
	⑦妻壁	基準 3	モルタル塗り 塗装 デザイン看板	モルタル塗り 塗装 デザイン看板	後補改変だが、このままとする。
	⑧屋根	基準 3	棧瓦葺き 青緑色	フランス瓦 塩焼き	後補伊勢湾台風修理改変か
	⑨樋	基準 2	塩ビ製樋	銅製樋	落ち葉により詰まり、撤去か検討する。
おもちゃ館内部(活用方針に応じて、構造補強・設備機器設置を検討する)					
広間 (保存)	⑩床	基準 3	カーペット フローリング張	タイル張	後補改変だが、このままとする。
	⑪腰壁	基準 1	モルタル塗り	モルタル塗り	埋込瓦等も当初のもの。
	⑫腰上壁	基準 3	プラスターボード、ビニルクロス張	キズリ下地 吹付塗装	後補改変だが、このままとする。
	⑬天井	基準 3	格天井 天井板はラワンベニヤ	格天井	格縁、天井板の 塗装色は後補のもの。 このままとする。
	⑭開口部	基準 1	木製腰付き 引分ガラス戸	木製腰付き 引分ガラス戸	塗装色は後補のもの。

部分 各部分の名称	区分		現状	当初	備考
	部位	保護の基準			
広間 (保存)	⑮開口部	基準 1	木製上げ下げ窓	木製上げ下げ窓	ガラスパテの傷み激しい。後補塗装により可動できず、修理必要。額縁は当初のもの。一部ガラス取替あり。
工作室	⑯床	基準 3	カーペット	板張りか調査	後補改変だが、このままとする。
	⑰壁	基準 3	プラスターボードビニルクロス張	キズり下地石こう塗り	後補改変だが、このままとする。
	⑱天井	基準 3	ラワンベニヤ 塗装	杉板張か	後補改変だが、このままとする。
	⑲開口部	基準 1	木製片引き戸	木製片引き戸	塗装は後補のもの。
	⑳開口部	基準 1	木製上げ下げ窓	木製上げ下げ窓	ガラスパテの傷み激しい。後補塗装により可動できず、修理必要。額縁は当初のもの。一部ガラス取替あり。

その他

- ・展示棚、スチールパイプ、ベンチシート、書棚、各種設備は昭和61年改装時のもの
- ・建物北側にある大きな石、樹木も後補のもの

2)保護管理図

■おもちゃ館（大正14年）外観

【おもちゃ館】北西より



【おもちゃ館】南東より



■おもちゃ館（大正14年）外観

【おもちゃ館】南西より



■おもちゃ館(大正14年)内観

【おもちゃ館】玄関



■おもちゃ館(大正 14 年)内観

【おもちゃ館】玄関 庇持送り金物

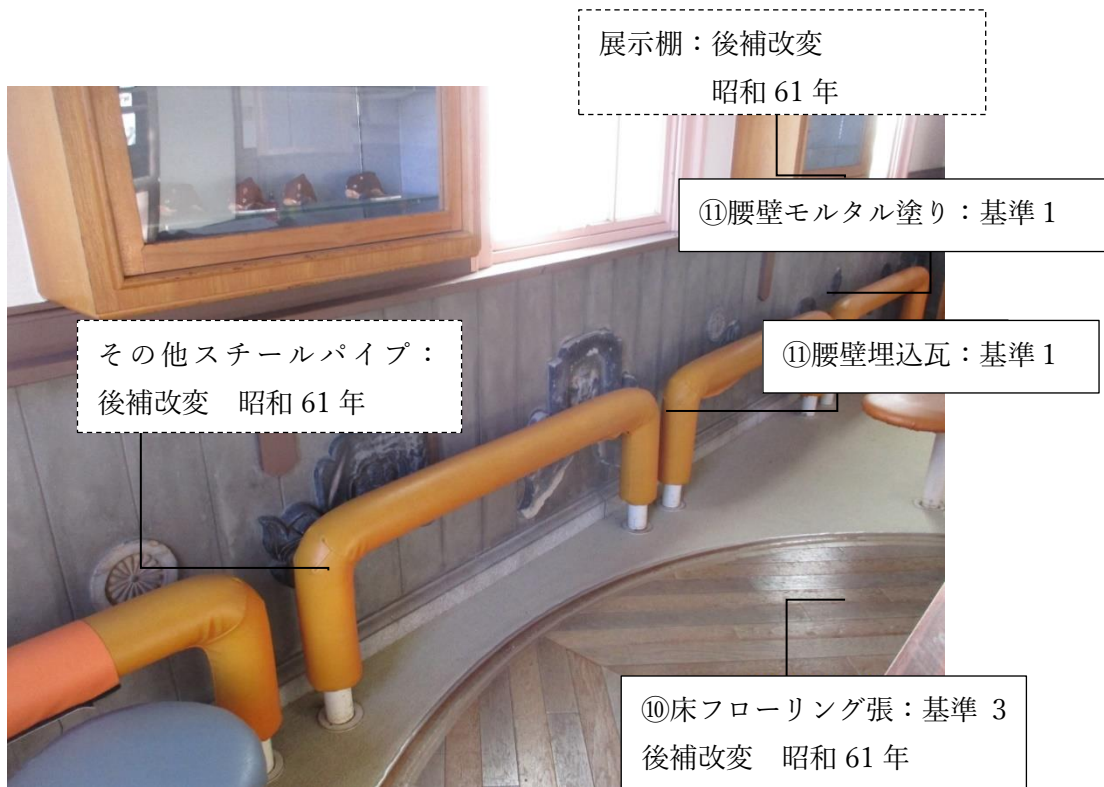


【おもちゃ館】東面

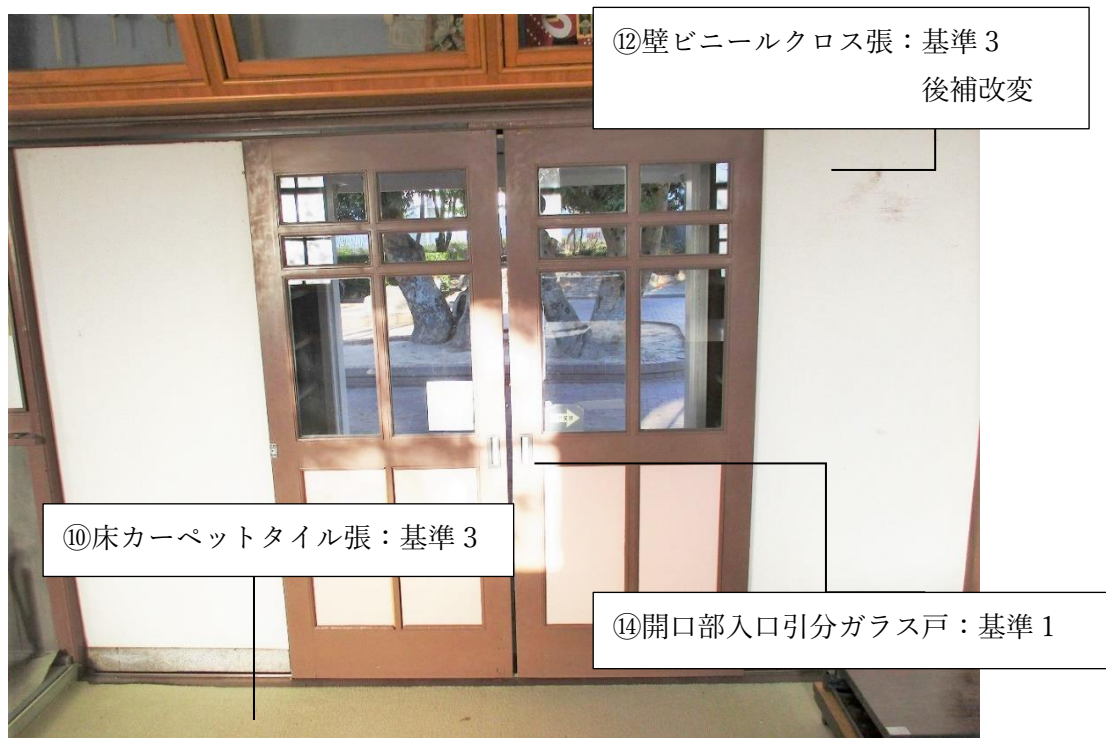


■おもちゃ館(大正14年)内観

【おもちゃ館】南西面



【おもちゃ館】

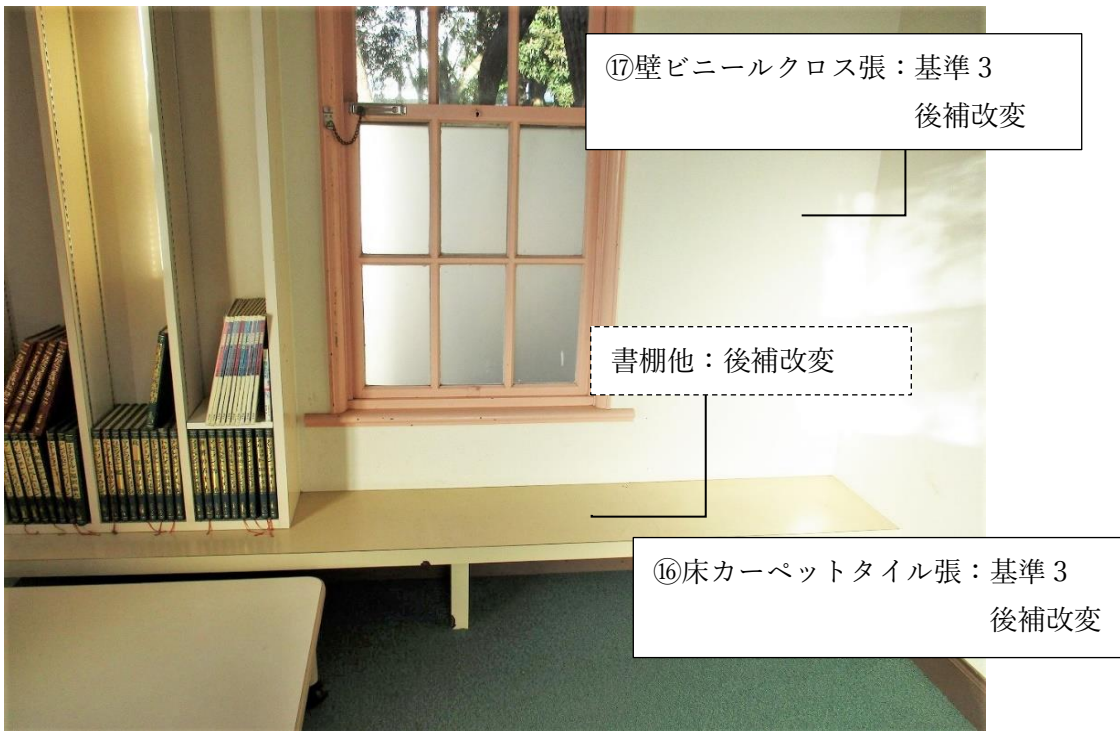


■おもちゃ館(大正14年)内観

【おもちゃ館】 工作室 南面



【おもちゃ館】 工作室 北面



4. 市民意向調査結果

アンケート調査 令和3年度中の随時 利用者に直接

回答者数 59人（紙回答以外に口頭での指摘も含む）

■回答の傾向

今回は図書館利用者及び岩瀬文庫利用者のほか、図書館ボランティアや岩瀬文庫ボランティア、図書館協議会にも意見聴取を行った。

十分な回答数が得られたわけではないが、今後の活用方法として、旧書庫については公開見学ができるようにすることと、これと併せて岩瀬文庫や書庫の歴史がわかるような展示を行う施設にする。の2種が大勢を占めた。

おもちゃ館については、旧書庫と同様、公開見学ができるようにすると 子供向けの本の読み聞かせや、紙芝居などの場所として利用できる場所にする が大勢を占めた。その他少数意見としてマンガ館にしたらどうかという意見もあった。

どちらの施設も、これまで一時的に行ってきた内容を安心安全に行っていくことができるようにするという意見が大半であったように思われる。

■旧書庫の活用について

Q1 旧岩瀬文庫の活用方法として良いと思うもの全てに丸をつけてください。

※ 広さや消防法等の関係で飲食・物販スペースとしての利用は難しくなっています。

- ①内部を、公開見学ができるようにする（イベント開催含む） 48%
- ②内部に、展示を行い岩瀬文庫や書庫の歴史を知ることができる資料館として見学できるようにする（イベント開催含む） 40%
- ③内部に、ギャラリースペースを設け、市民の作品等を展示することで、市民の発表の場、一般の方が芸術・文化に触れることができる場とする（イベント開催含む） 12%
- ④その他（ ） 0%

■おもちゃ館の活用について

Q2 おもちゃ館の活用方法として良いと思うもの全てに丸をつけてください。

※ 広さや消防法等の関係で飲食・物販スペースとしての利用は難しくなっています。

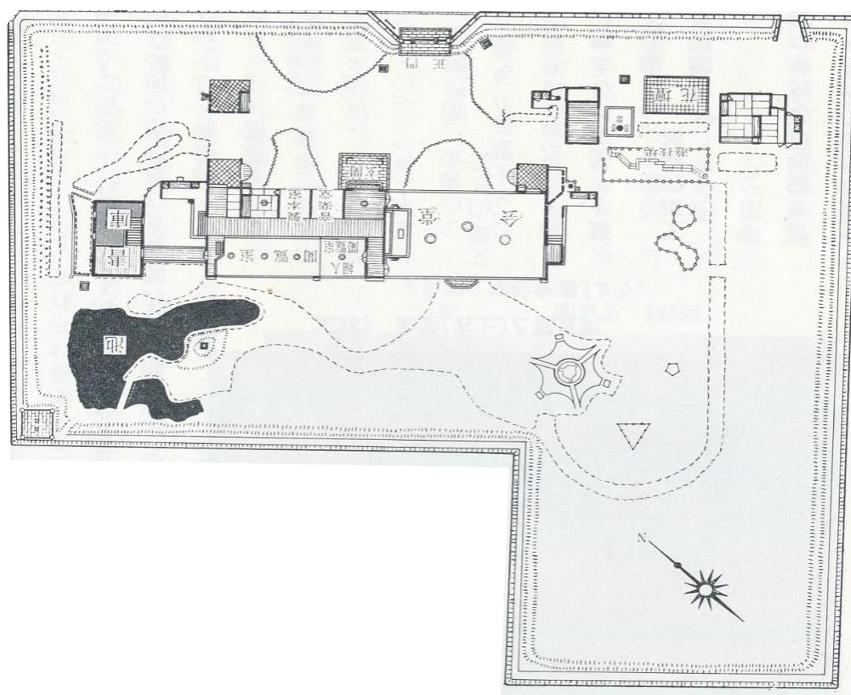
- ①外部を、ライトアップにより夜景が楽しめるようにする 9%
- ②内部を、公開見学ができるようにする（イベント開催含む） 23%
- ③内部を、子供向けに本の読み聞かせや、紙芝居、おもちゃ病院などとして利用できる場にする（イベント開催含む） 45%
- ④内部を、児童向けの図書スペースとして、絵本などの児童向け図書スペースとする（イベント開催含む） 23%
- ⑤その他（ ） 0%

5. 図面・写真資料

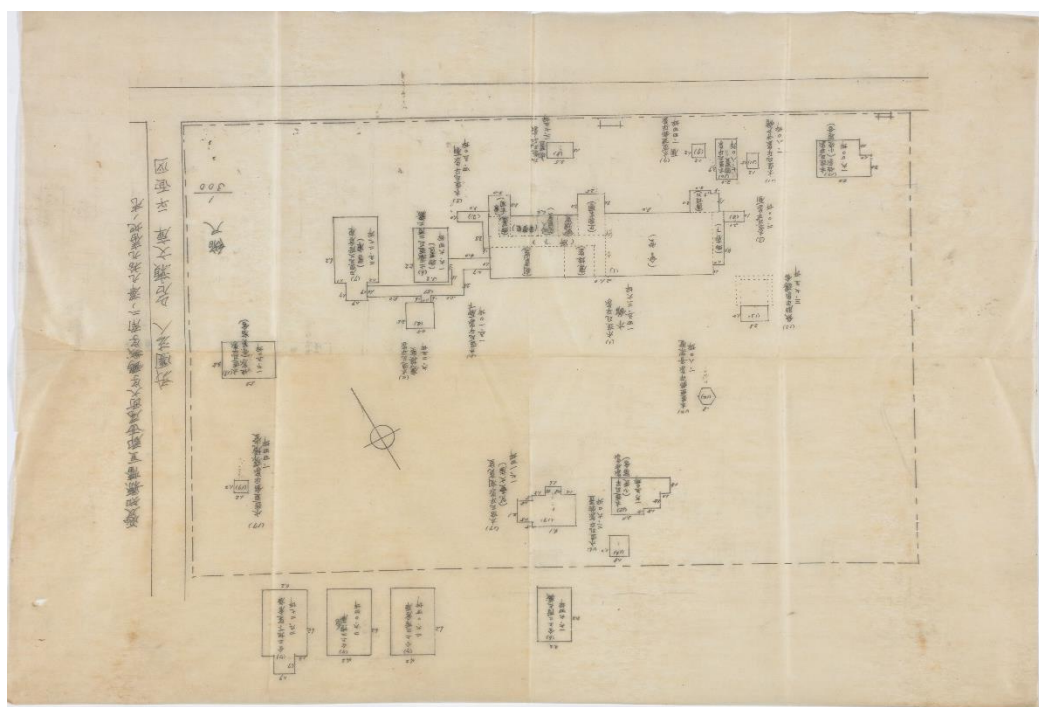
① 図面

1) 敷地図面

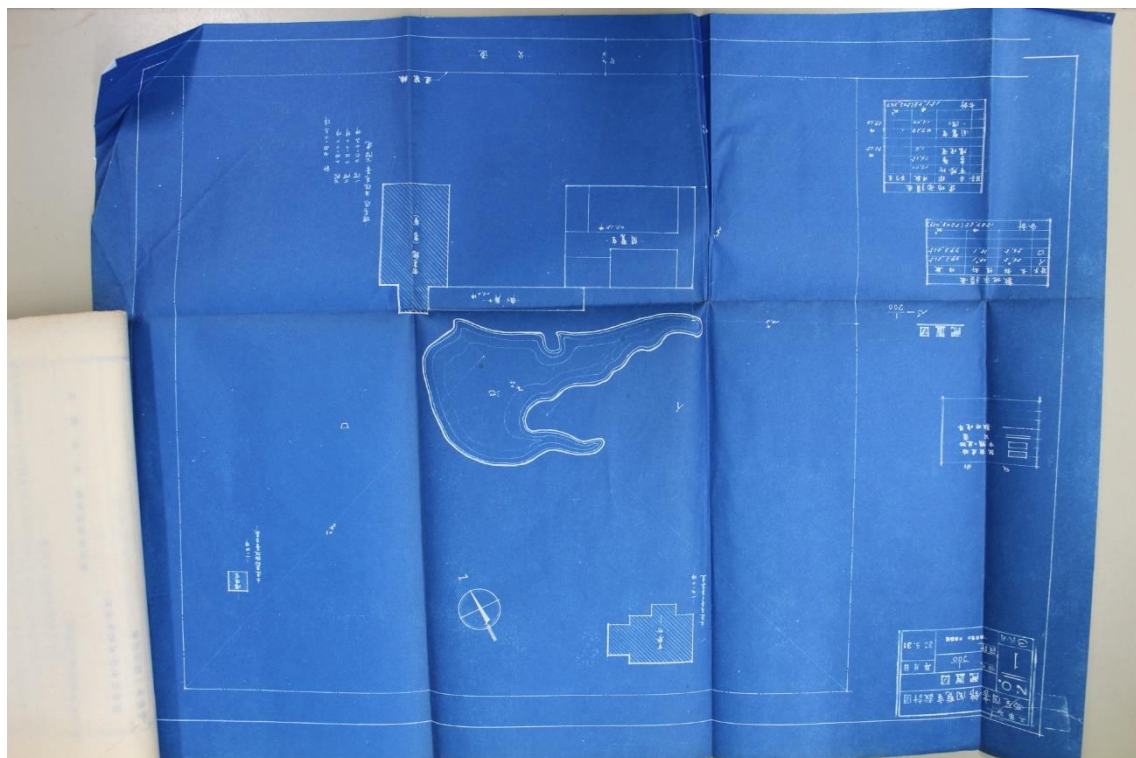
○大正6年以前の図面（第1期整備後）



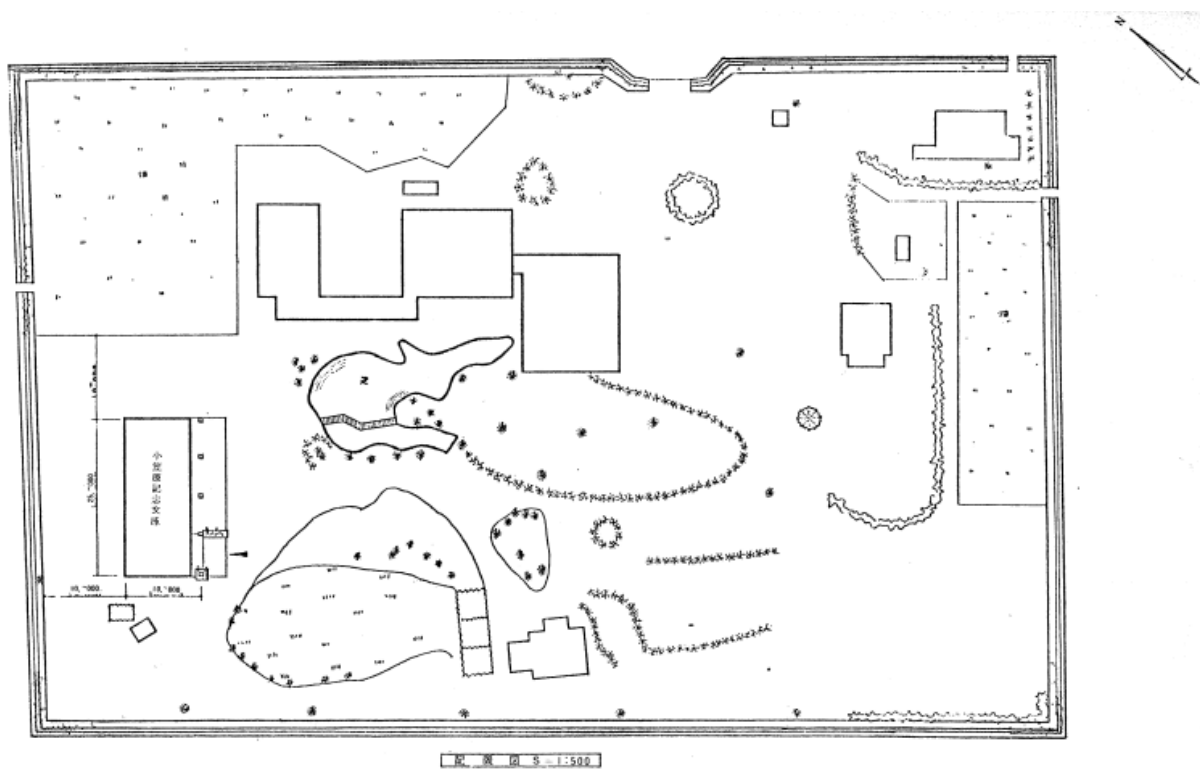
○昭和5年以降（財団法人移行以降）昭和20年1月三河地震以前の図面



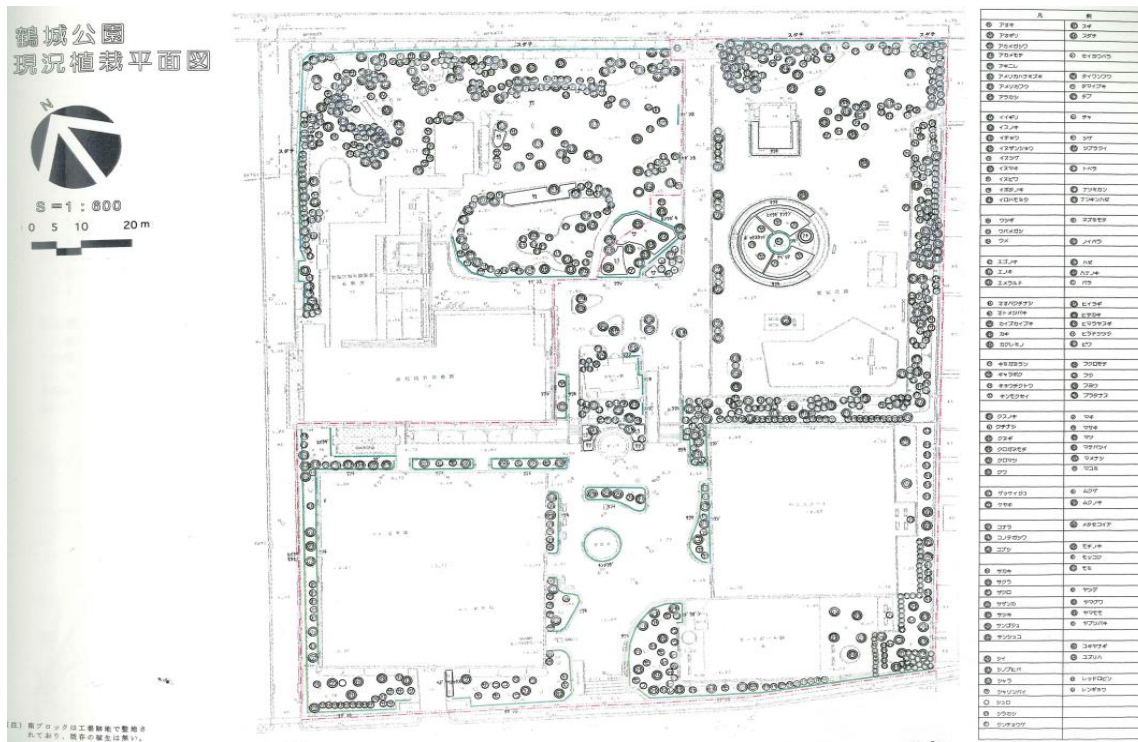
○昭和 35 年の青図



○昭和 41 年ごろの図面



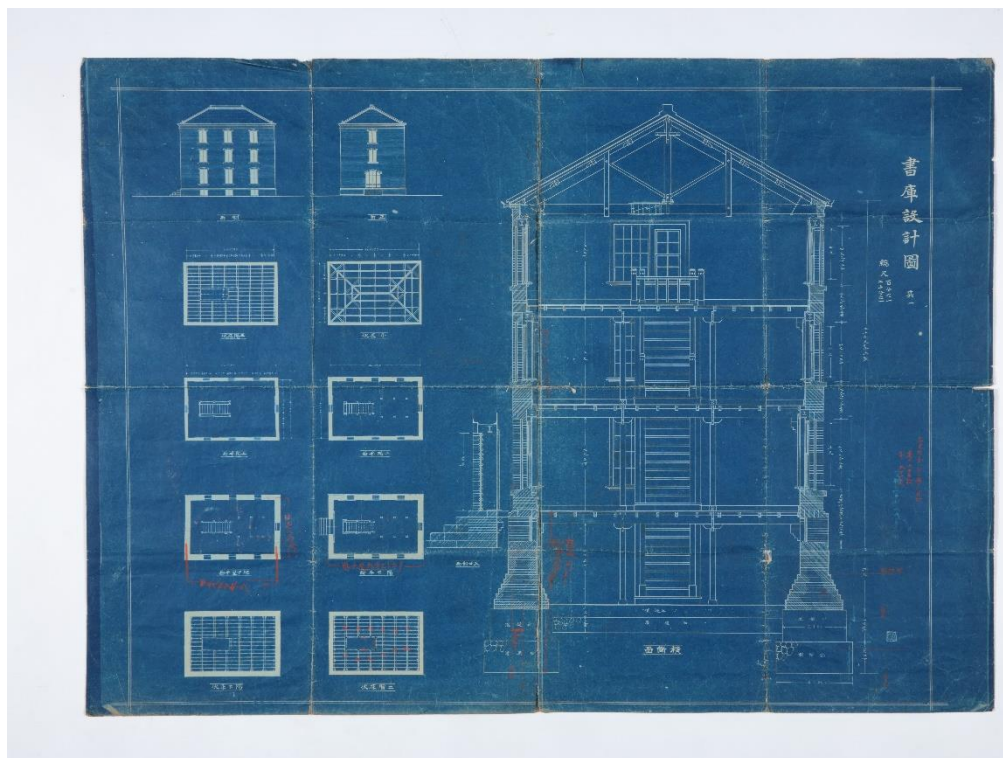
○現況植栽平面図（鶴城公園基本設計 報告書 平成 11 年 2 月）



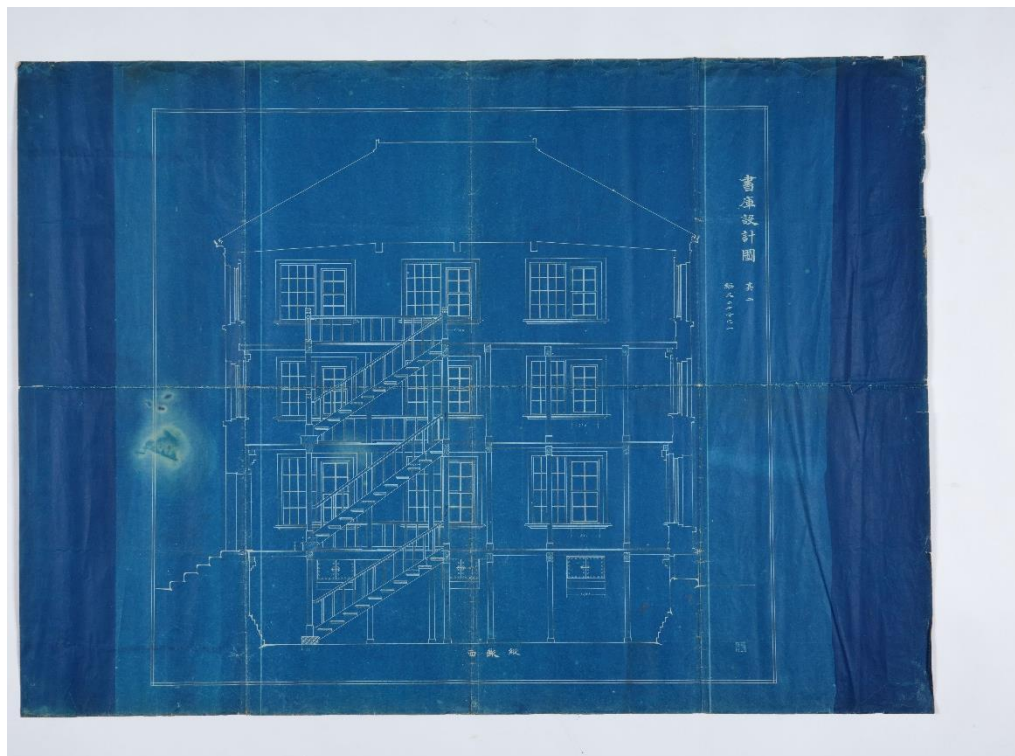
2) 建物図面

ア 旧書庫

○平面図・断面図1 青図



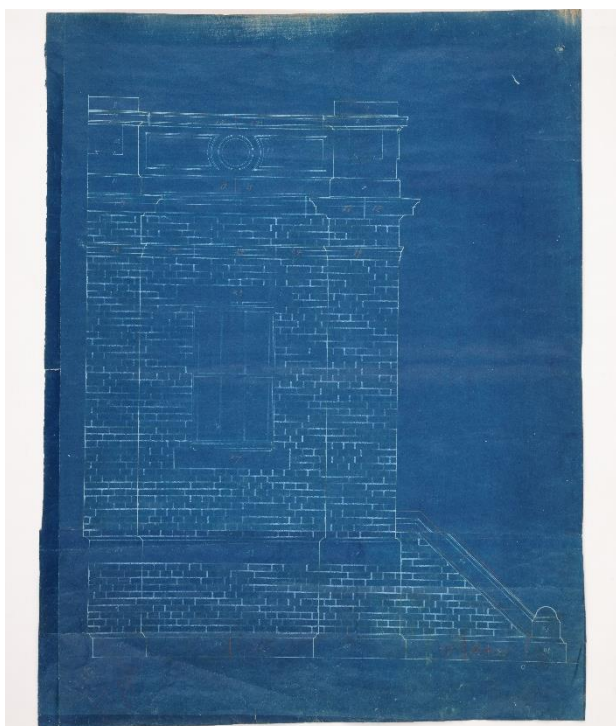
○断面図2 青図



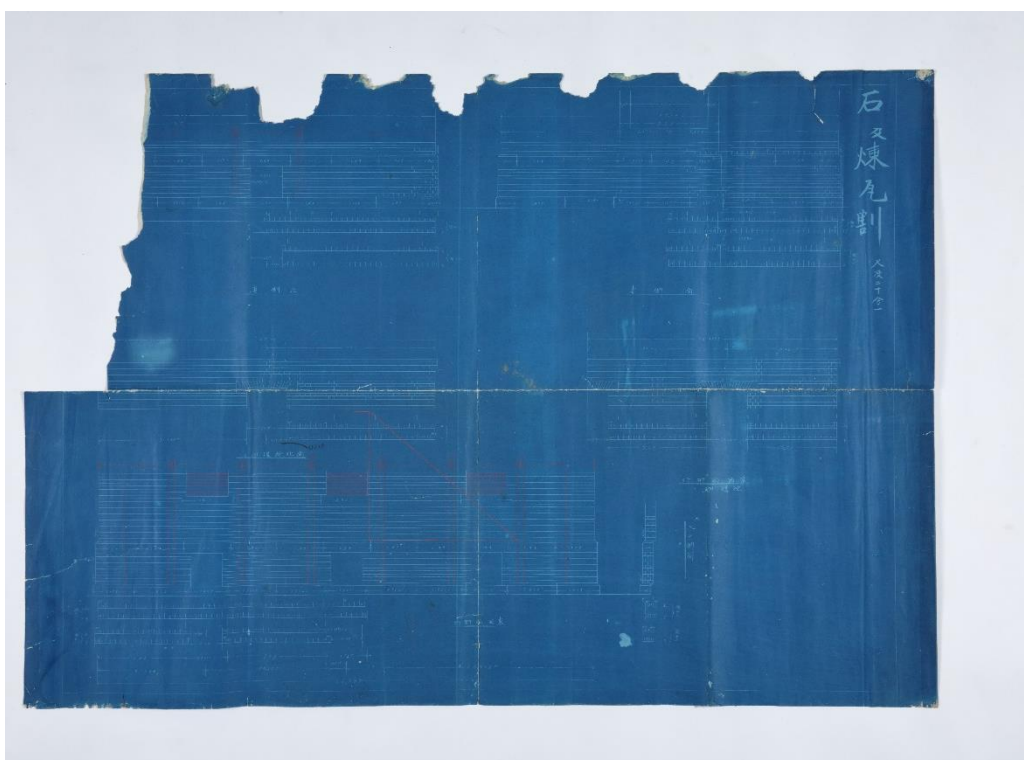
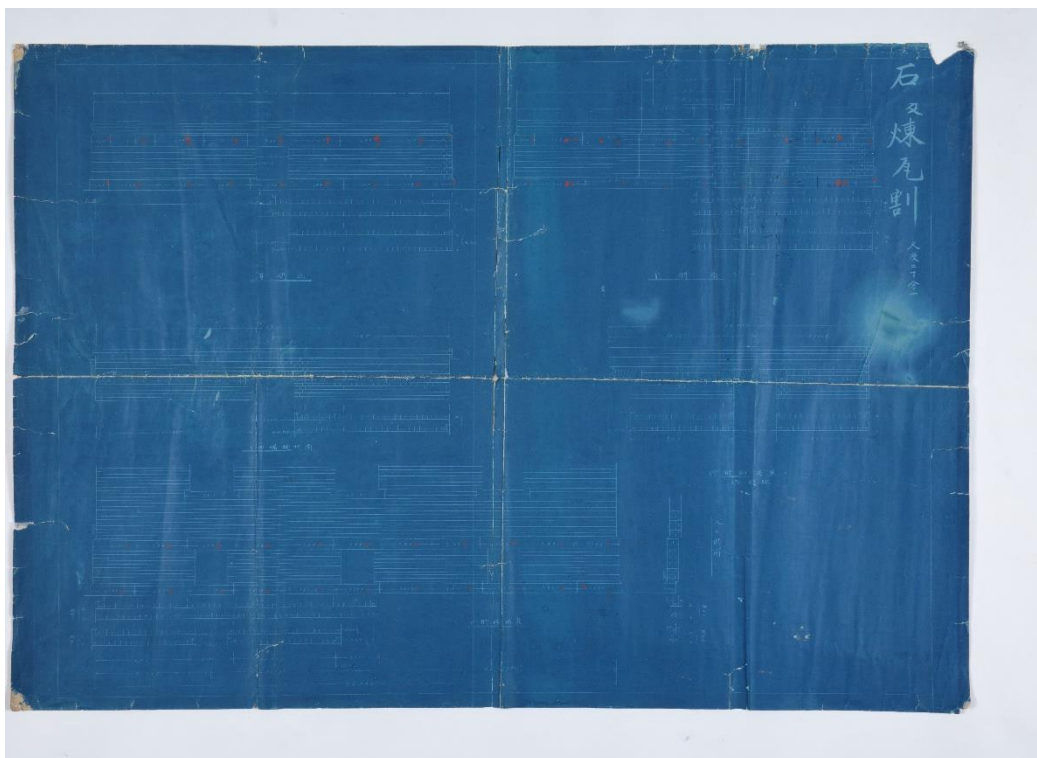
○玄関正面 青図



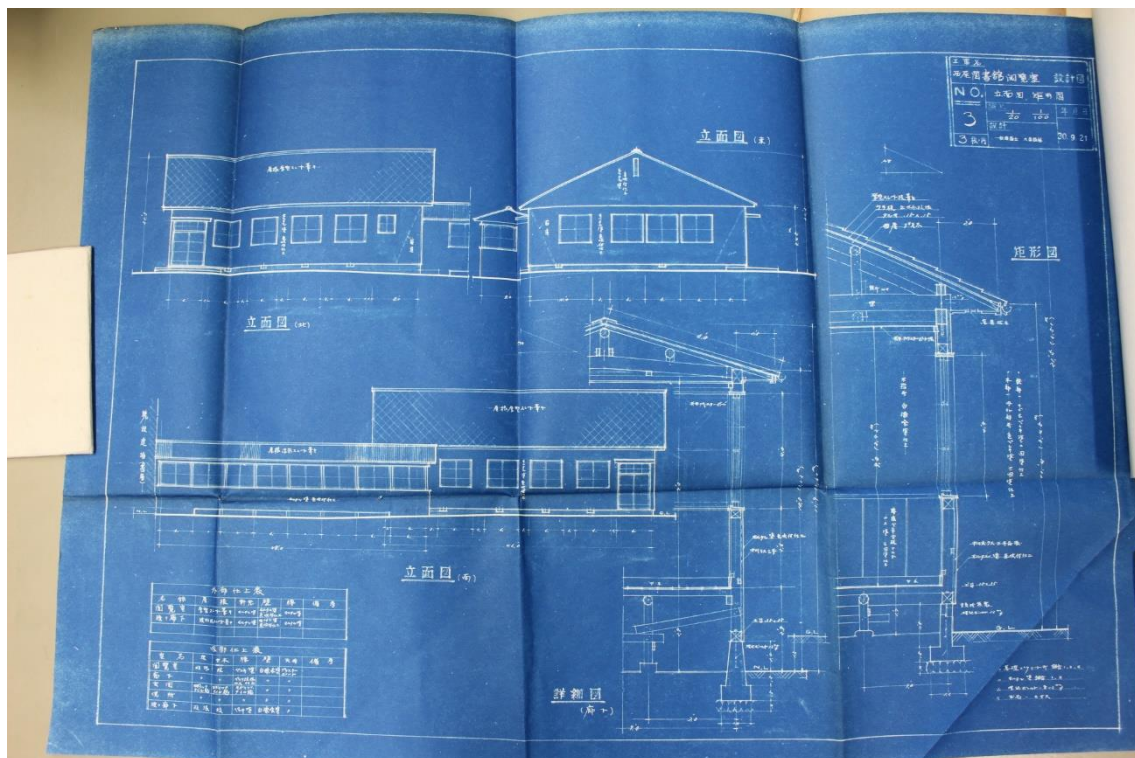
○玄関横 青図



○レンガ割 青図



○昭和30年 再建閱覽室立面図



②写真

■愛知県写真帖

○明治43年



○大正2年



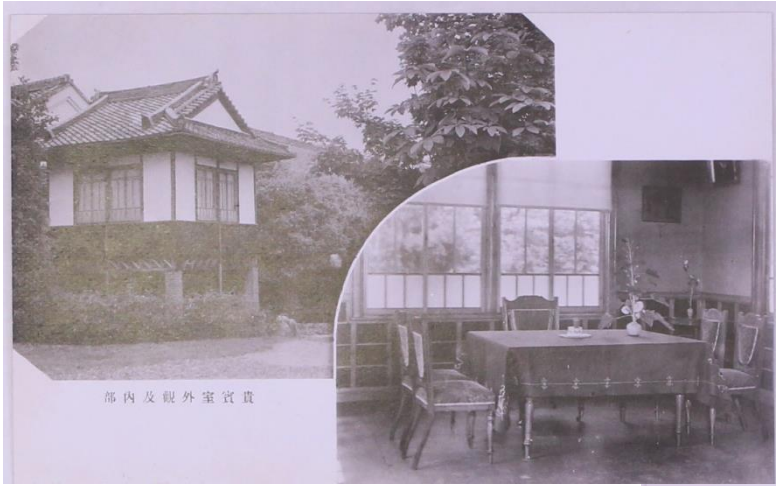
○回轉式休憩室



○正門



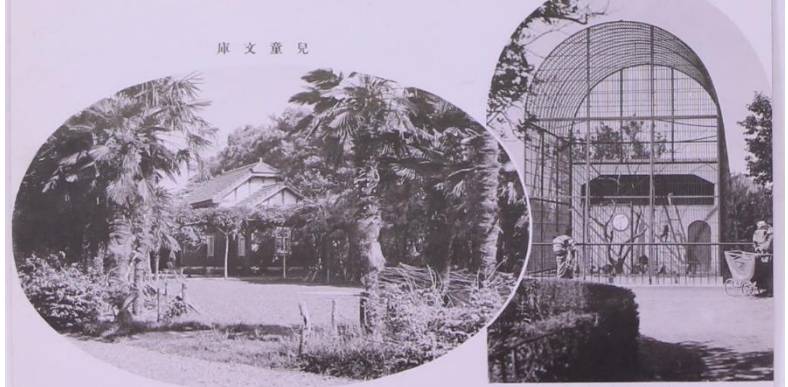
■岩瀬文庫 絵葉書



部内及観外室賓貴

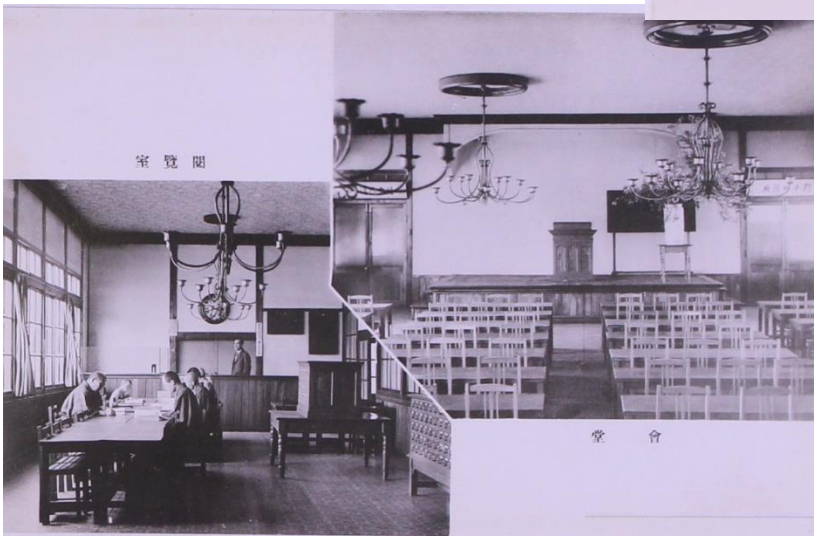


庫書



庫文童兒

舎猿内園



室覽閱

堂會



景全庫文

門正

■愛知県公立図書館記念写真帖



○昭和5年

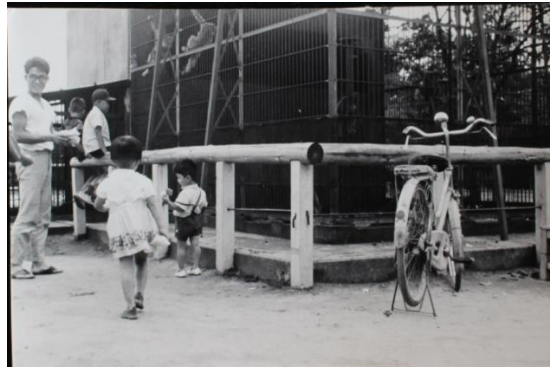


■市民所蔵等写真

○昭和 30 年（閲覧室）



○昭和 41 年

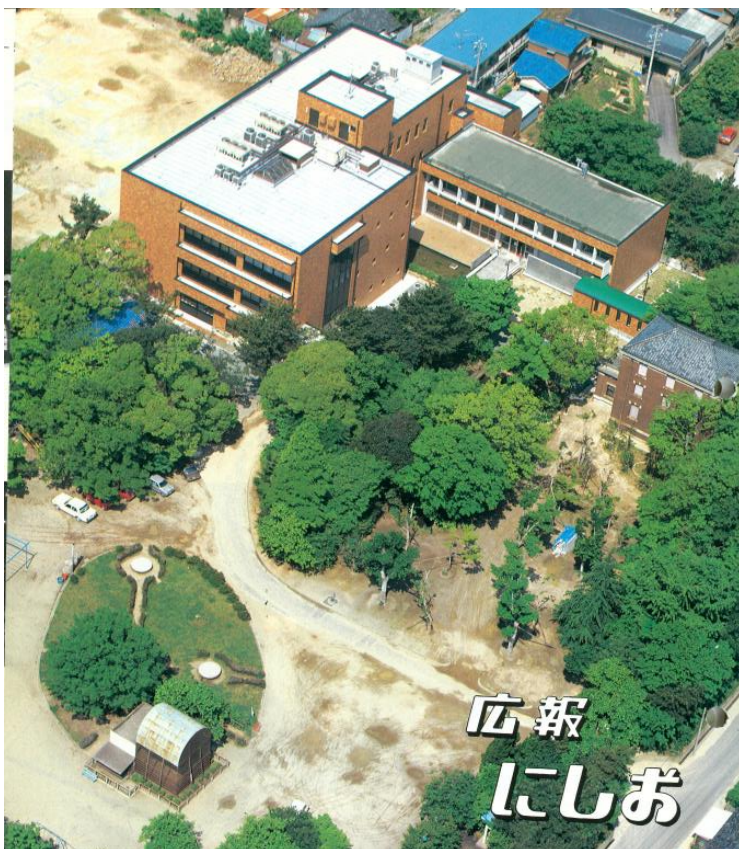






■広報にしお

○昭和 58 年



■建物内の様子

○平成 13 年（旧書庫）



○平成 13 年（おもちゃ館）



西尾市岩瀬文庫書庫・西尾市立図書館おもちゃ館保存活用計画

令和4年3月

編集発行 西尾市教育員会文化財課